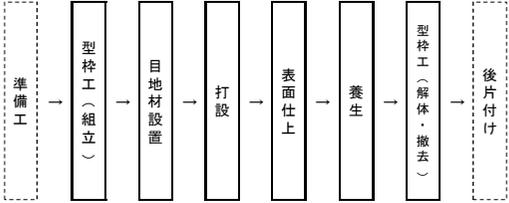
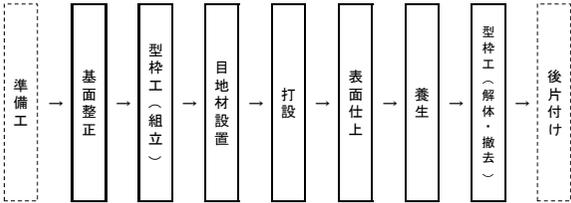


土木工事標準歩掛の改定
張りコンクリート工

工種名	現 行	改 定	適 要
張りコンクリート工		<p>②張りコンクリート工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、コンクリートの厚さが平均5cm以上10cm以下の張りコンクリート打設に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 縦排水溝・小段排水溝周りの張りコンクリートとして、法面排水による洗掘防止等を目的として行うもの。 (2) 防草コンクリートとして、路肩（路側に隣接する法尻・法肩を含む）や分離帯に防草や防火、表面排水等を目的として行うもの。</p> <p>図1-1 張りコンクリートの例</p> <p>※施工高さとは、施工基面からの高さとする。</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 歩道などのコンクリート舗装 (2) 鉄筋、金網・鉄筋格子などを含む場合</p>	

土木工事標準歩掛の改定
張りコンクリート工

工種名	現 行	改 定	適 要
張りコンクリート工		<p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>【張りコンクリート（縦排水溝・小段排水溝）】</p>  <p>【張りコンクリート（防草コンクリート）】</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである 2. 基面整正は、張りコンクリート（防草コンクリート）施工箇所における掘削・盛土等の土工を行わない場合のみ計上する。 3. 型枠工（組立、解体・撤去）及び目地材設置の有無にかかわらず適用出来る。 4. 表面仕上は、こて仕上、刷毛仕上のいずれの場合も適用出来る。</p>	

土木工事標準歩掛の改定
張りコンクリート工

工種名	現 行	改 定	適 要																														
張りコンクリート工		<p>2-2 コンクリート打設工法の選定 コンクリート打設工法の選定は、図2-1を標準とするが、現場状況等を考慮し、これにより難い場合は、別途考慮する。</p> <p>図2-1 コンクリート打設工法の選定</p> <p>(注) 1. 機械によるコンクリート打設を行う場合、作業半径内にレディミキストコンクリートを搬入出来ることを前提とする。 2. 適用範囲外の場合は「第5編3章コンクリート工」による。</p> <p>図2-2 コンクリート打設工法の選定 (縦排水溝・小段排水溝)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工高さ (m)</th> <th>適用範囲外</th> </tr> <tr> <td>15.0m以下</td> <td rowspan="2">適用範囲外</td> </tr> <tr> <td>4.5m以下</td> </tr> <tr> <td>4.5m以下</td> <td rowspan="2">適用範囲内</td> </tr> <tr> <td>0m</td> </tr> <tr> <td>-6.5m以上</td> <td rowspan="2">適用範囲内</td> </tr> <tr> <td>-6.5m未満</td> </tr> <tr> <td>-16.0m以上</td> <td>適用範囲外</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.0m以下 4.0m超 13.0m以下 13.0m超 施工幅 (m)</td> </tr> </table> <p>図2-3 コンクリート打設工法の選定 (防草コンクリート)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工高さ (m)</th> <th>適用範囲外</th> </tr> <tr> <td>2.5m以下</td> <td rowspan="2">適用範囲外</td> </tr> <tr> <td>1.0m超</td> </tr> <tr> <td>1.0m以下</td> <td rowspan="2">適用範囲内</td> </tr> <tr> <td>0m</td> </tr> <tr> <td>-1.0m以上</td> <td rowspan="2">適用範囲内</td> </tr> <tr> <td>-1.0m未満</td> </tr> <tr> <td>-4.5m以上</td> <td>適用範囲外</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.0m以下 1.0m超 2.0m以下 2.0m超 施工幅 (m)</td> </tr> </table>	施工高さ (m)	適用範囲外	15.0m以下	適用範囲外	4.5m以下	4.5m以下	適用範囲内	0m	-6.5m以上	適用範囲内	-6.5m未満	-16.0m以上	適用範囲外		4.0m以下 4.0m超 13.0m以下 13.0m超 施工幅 (m)	施工高さ (m)	適用範囲外	2.5m以下	適用範囲外	1.0m超	1.0m以下	適用範囲内	0m	-1.0m以上	適用範囲内	-1.0m未満	-4.5m以上	適用範囲外		1.0m以下 1.0m超 2.0m以下 2.0m超 施工幅 (m)	
施工高さ (m)	適用範囲外																																
15.0m以下	適用範囲外																																
4.5m以下																																	
4.5m以下	適用範囲内																																
0m																																	
-6.5m以上	適用範囲内																																
-6.5m未満																																	
-16.0m以上	適用範囲外																																
	4.0m以下 4.0m超 13.0m以下 13.0m超 施工幅 (m)																																
施工高さ (m)	適用範囲外																																
2.5m以下	適用範囲外																																
1.0m超																																	
1.0m以下	適用範囲内																																
0m																																	
-1.0m以上	適用範囲内																																
-1.0m未満																																	
-4.5m以上	適用範囲外																																
	1.0m以下 1.0m超 2.0m以下 2.0m超 施工幅 (m)																																

土木工事標準歩掛の改定
張りコンクリート工

工種名	現 行	改 定	適 要																																																																
張りコンクリート工		<p>3. 機種の選定 使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1115 352 1859 582"> <thead> <tr> <th>構造物種別</th> <th>作業区分</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">縦排水溝 小段排水溝</td> <td rowspan="2">打 設</td> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>防 草 コンクリート</td> <td>打 設</td> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力1.7t</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーン、バックホウ(クローラ型)標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)吊能力1.7tは、賃料とする。</p> <p>4. 施工歩掛 4-1 基面整正 基面整正は、張りコンクリート(防草コンクリート)施工箇所における掘削・盛土等の土工を行わない場合のみ計上する。 施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 基面整正歩掛 (100㎡当り)</p> <table border="1" data-bbox="1249 770 1724 842"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-2 型枠工 張りコンクリート工の型枠の組立、解体・撤去にかかる作業で歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 型枠工歩掛 (型枠面積10㎡当り)</p> <table border="1" data-bbox="1211 962 1765 1090"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>縦排水溝</th> <th>小段排水溝</th> <th>防 草 コンクリート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.2</td> <td>0.90</td> <td>0.43</td> </tr> <tr> <td>型 わ く 工</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td>1.6</td> <td>0.86</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>0.52</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、はく離剤塗布及びケレン作業を含む。 2. 諸雑費は、型枠用合板、組立支持材、はく離剤等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	構造物種別	作業区分	機 械 名	規 格	単 位	数 量	縦排水溝 小段排水溝	打 設	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	台	1	ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	台	1	防 草 コンクリート	打 設	バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7t	台	1	名 称	規 格	単 位	数 量	土木一般世話役		人	1.2	普通作業員		人	3.2	名 称	規 格	単 位	縦排水溝	小段排水溝	防 草 コンクリート	土木一般世話役		人	1.2	0.90	0.43	型 わ く 工		人	1.6	1.6	0.86	普通作業員		人	1.2	1.2	0.52	諸 雑 費		%	6	6	12	
構造物種別	作業区分	機 械 名	規 格	単 位	数 量																																																														
縦排水溝 小段排水溝	打 設	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	台	1																																																														
		ラフテレーン クレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	台	1																																																														
防 草 コンクリート	打 設	バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7t	台	1																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																
土木一般世話役		人	1.2																																																																
普通作業員		人	3.2																																																																
名 称	規 格	単 位	縦排水溝	小段排水溝	防 草 コンクリート																																																														
土木一般世話役		人	1.2	0.90	0.43																																																														
型 わ く 工		人	1.6	1.6	0.86																																																														
普通作業員		人	1.2	1.2	0.52																																																														
諸 雑 費		%	6	6	12																																																														

土木工事標準歩掛の改定
張りコンクリート工

工種名	現 行	改 定	適 要																																																																																											
張りコンクリート工		<p>4-3 打設 4-3-1 材料の使用量 材料の使用量は、次式による。 使用量=設計量×(1+K)式4.1 K:ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.3 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>材 料</th> <th>構造物種別</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミクスト コンクリート</td> <td>縦排水溝・小段排水溝 防草コンクリート</td> <td>0.21</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3-2 縦排水溝・小段排水溝 張りコンクリート(縦排水溝・小段排水溝)にかかるコンクリート打設の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 コンクリート打設歩掛(縦排水溝・小段排水溝) (100㎡当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">縦排水溝</th> <th colspan="2">小段排水溝</th> </tr> <tr> <th>バックホウ クレーン</th> <th>クレーン</th> <th>バックホウ クレーン</th> <th>クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.5</td> <td>3.9</td> <td>1.8</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.1</td> <td>5.0</td> <td>2.1</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.8 (5.0)</td> <td>8.0 (7.2)</td> <td>3.5 (3.1)</td> <td>5.4 (5.1)</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)運</td> <td>標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m³(平積0.6m³)吊能力2.9t</td> <td>h</td> <td>16.5</td> <td>—</td> <td>13.3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ラフレークレーン運</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ式 25t吊り</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>1.9</td> <td>—</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td>1 (0.7)</td> <td>0.5 (0.3)</td> <td>2 (0.8)</td> <td>1 (0.3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 目地材設置を行わない場合は、()内の数値を計上する。 2. 上表は、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業等を行う機械付補助労務、コンクリートの表面仕上げ作業に必要な労務を含む。 3. 諸雑費は、コンクリートバケット(ホップ)の損料、目地材等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. ラフレークレーンは、賃料とする。</p> <p>4-3-3 防草コンクリート 張りコンクリート(防草コンクリート)にかかるコンクリート打設の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 コンクリート打設歩掛(防草コンクリート) (100㎡当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">防草コンクリート</th> </tr> <tr> <th>バックホウ</th> <th>人力打設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.60</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.9 (1.6)</td> <td>3.2 (2.9)</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)運</td> <td>標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>0.89</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td>4 (0.7)</td> <td>3 (0.2)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 目地材設置を行わない場合は、()内の数値を計上する。 2. バックホウ打設には、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業等を行う機械付補助労務を含む。 3. 上表は、コンクリートの表面仕上げ作業に必要な労務を含む。 4. バックホウ打設の諸雑費は、コンクリートバケット(ホップ)の損料、目地材等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 人力打設には、シュートの架設、移設等の作業を含む。 6. 人力打設の諸雑費は、シュートの損料、目地材の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. バックホウは、賃料とする。</p>	材 料	構造物種別	ロス率	レディミクスト コンクリート	縦排水溝・小段排水溝 防草コンクリート	0.21	名 称	規 格	単 位	縦排水溝		小段排水溝		バックホウ クレーン	クレーン	バックホウ クレーン	クレーン	土木一般世話役		人	2.5	3.9	1.8	2.8	特殊作業員		〃	2.1	5.0	2.1	3.8	普通作業員		〃	5.8 (5.0)	8.0 (7.2)	3.5 (3.1)	5.4 (5.1)	バックホウ(クローラ型)運	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)吊能力2.9t	h	16.5	—	13.3	—	ラフレークレーン運	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ式 25t吊り	日	—	1.9	—	1.5	諸 雑 費		%	1 (0.7)	0.5 (0.3)	2 (0.8)	1 (0.3)	名 称	規 格	単 位	防草コンクリート		バックホウ	人力打設	土木一般世話役		人	0.60	1.0	特殊作業員		〃	1.1	—	普通作業員		〃	1.9 (1.6)	3.2 (2.9)	バックホウ(クローラ型)運	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力1.7t	日	0.89	—	諸 雑 費		%	4 (0.7)	3 (0.2)	
材 料	構造物種別	ロス率																																																																																												
レディミクスト コンクリート	縦排水溝・小段排水溝 防草コンクリート	0.21																																																																																												
名 称	規 格	単 位	縦排水溝		小段排水溝																																																																																									
			バックホウ クレーン	クレーン	バックホウ クレーン	クレーン																																																																																								
土木一般世話役		人	2.5	3.9	1.8	2.8																																																																																								
特殊作業員		〃	2.1	5.0	2.1	3.8																																																																																								
普通作業員		〃	5.8 (5.0)	8.0 (7.2)	3.5 (3.1)	5.4 (5.1)																																																																																								
バックホウ(クローラ型)運	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)吊能力2.9t	h	16.5	—	13.3	—																																																																																								
ラフレークレーン運	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ式 25t吊り	日	—	1.9	—	1.5																																																																																								
諸 雑 費		%	1 (0.7)	0.5 (0.3)	2 (0.8)	1 (0.3)																																																																																								
名 称	規 格	単 位	防草コンクリート																																																																																											
			バックホウ	人力打設																																																																																										
土木一般世話役		人	0.60	1.0																																																																																										
特殊作業員		〃	1.1	—																																																																																										
普通作業員		〃	1.9 (1.6)	3.2 (2.9)																																																																																										
バックホウ(クローラ型)運	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力1.7t	日	0.89	—																																																																																										
諸 雑 費		%	4 (0.7)	3 (0.2)																																																																																										

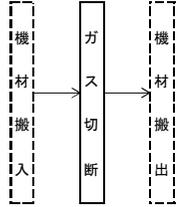
土木工事標準歩掛の改定
張りコンクリート工

工種名	現 行	改 定	適 要																				
張りコンクリート工		<p>4-4 養生 一般養生における歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 一般養生歩掛 (100㎡当り)</p> <table border="1" data-bbox="1211 347 1760 456"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>縦 排 水 溝 小 段 排 水</th> <th>防 草 コ ン ク リ ー ト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.21</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.56</td> <td>0.31</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は一般養生の場合に適用し、特殊養生が必要な場合は、第5編3章 コンクリート工による。 2. 諸雑費は、シート・養生マット等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	縦 排 水 溝 小 段 排 水	防 草 コ ン ク リ ー ト	土木一般世話役		人	0.21	0.09	普通作業員		人	0.56	0.31	諸 雑 費		%	2	2	
名 称	規 格	単 位	縦 排 水 溝 小 段 排 水	防 草 コ ン ク リ ー ト																			
土木一般世話役		人	0.21	0.09																			
普通作業員		人	0.56	0.31																			
諸 雑 費		%	2	2																			

土木工事標準歩掛の改定
張りコンクリート工

工種名	現 行	改 定	適 要																																																																																																																																																																																	
張りコンクリート工		<p>5. 単価表</p> <p>(1) 基面整正100㎡当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1137 316 1832 403"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 型枠工10㎡当り単価表 (縦排水溝・小段排水溝・防草コンクリート)</p> <table border="1" data-bbox="1137 451 1832 555"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) コンクリート打設工100㎡当り単価表 (縦排水溝・小段排水溝)</p> <table border="1" data-bbox="1137 611 1832 810"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>㎡</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)運 転</td> <td>標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9 t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.4 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ式 25t吊り</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.4 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) コンクリート打設工100㎡当り単価表 (防草コンクリート)</p> <table border="1" data-bbox="1137 850 1832 1018"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>㎡</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)運 転</td> <td>標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力1.7 t</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.5 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 養生100㎡当り単価表 (縦排水溝・小段排水溝・防草コンクリート)</p> <table border="1" data-bbox="1137 1058 1832 1145"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1137 1177 1832 1281"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>通用単価表</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)</td> <td>標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³) 吊能力1.7 t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→39.5 機械賃料数量→1.6</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)</td> <td>標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9 t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.1	普通作業員		人		〃	諸雑費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.2	型 枠 工		人		〃	普通作業員		人		〃	諸雑費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.4	特殊作業員		人		〃	普通作業員		人		〃	コンクリート		㎡		式4.1	バックホウ(クローラ型)運 転	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9 t	h		表4.4 機械賃料	ラフテレーンクレーン運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ式 25t吊り	日		表4.4 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.5	特殊作業員		人		〃	普通作業員		人		〃	コンクリート		㎡		式4.1	バックホウ(クローラ型)運 転	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7 t	日		表4.5 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.5	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人		表4.6	普通作業員		人		〃	諸雑費		式	1	〃	計					名 称	規 格	通用単価表	摘 要	バックホウ(クローラ型)	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→39.5 機械賃料数量→1.6	バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9 t	機-1		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																
土木一般世話役		人		表4.1																																																																																																																																																																																
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																																
諸雑費		式	1																																																																																																																																																																																	
計																																																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																
土木一般世話役		人		表4.2																																																																																																																																																																																
型 枠 工		人		〃																																																																																																																																																																																
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																																
諸雑費		式	1	〃																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																
土木一般世話役		人		表4.4																																																																																																																																																																																
特殊作業員		人		〃																																																																																																																																																																																
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																																
コンクリート		㎡		式4.1																																																																																																																																																																																
バックホウ(クローラ型)運 転	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9 t	h		表4.4 機械賃料																																																																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ式 25t吊り	日		表4.4 機械賃料																																																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1	表4.4																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																
土木一般世話役		人		表4.5																																																																																																																																																																																
特殊作業員		人		〃																																																																																																																																																																																
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																																
コンクリート		㎡		式4.1																																																																																																																																																																																
バックホウ(クローラ型)運 転	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7 t	日		表4.5 機械賃料																																																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1	表4.5																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																
土木一般世話役		人		表4.6																																																																																																																																																																																
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																																
諸雑費		式	1	〃																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																				
名 称	規 格	通用単価表	摘 要																																																																																																																																																																																	
バックホウ(クローラ型)	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³) 吊能力1.7 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→39.5 機械賃料数量→1.6																																																																																																																																																																																	
バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(2011年規制) 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9 t	機-1																																																																																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の改定
ガス切断工

工種名	現 行	改 定	適 用																												
ガス切断工		<p>⑳ガス切断工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>・本歩掛は、鋼管杭(φ400～φ600)、H鋼杭(H300～H400)、鋼矢板(Ⅱ型、Ⅲ型、Ⅳ型、Ⅴ型、Ⅵ型、Ⅶ型、Ⅷ型、Ⅸ型、Ⅹ型、Ⅺ型、Ⅻ型、Ⅼ型、Ⅽ型、Ⅾ型、Ⅿ型、ⅰ型、ⅱ型、ⅲ型、ⅳ型、ⅴ型、ⅵ型、ⅶ型、ⅷ型、ⅷ型、ⅸ型、ⅹ型、ⅺ型)を現場で、ガス切断する場合に適用する。</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注)本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p>ガス切断工の施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 施工歩掛 (1箇所当り)</p> <table border="1" data-bbox="1265 970 1675 1295"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">編成人員</th> <th colspan="2">ガス消費量</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>溶接工 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>酸素 (m)</th> <th>アセチレン (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼管杭</td> <td>0.25</td> <td>0.05</td> <td>2.98</td> <td>1.19</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>H鋼杭</td> <td>0.13</td> <td>0.07</td> <td>0.76</td> <td>0.34</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>鋼矢板</td> <td>0.13</td> <td>0.04</td> <td>0.63</td> <td>0.26</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、ガス切断機、ガス調整器の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>2. 防炎シート設置等の養生は準備作業であるため、歩掛には含まれない。</p>	名称	編成人員		ガス消費量		諸雑費率 (%)	溶接工 (人)	普通作業員 (人)	酸素 (m)	アセチレン (kg)	鋼管杭	0.25	0.05	2.98	1.19	0.1	H鋼杭	0.13	0.07	0.76	0.34	0.2	鋼矢板	0.13	0.04	0.63	0.26	0.1	
名称	編成人員			ガス消費量		諸雑費率 (%)																									
	溶接工 (人)	普通作業員 (人)	酸素 (m)	アセチレン (kg)																											
鋼管杭	0.25	0.05	2.98	1.19	0.1																										
H鋼杭	0.13	0.07	0.76	0.34	0.2																										
鋼矢板	0.13	0.04	0.63	0.26	0.1																										

土木工事標準歩掛の改定
ガス切断工

工種名	現 行	改 定	適 用																																			
ガス切断工		<p>4. 単価表 (1) ガス切断1箇所当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1319 448 1615 663"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>酸素</td> <td>ボンベ</td> <td>m</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>アセチレン</td> <td>ボンベ</td> <td>kg</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	溶接工		人		表3.1	普通作業員		"		"	酸素	ボンベ	m		"	アセチレン	ボンベ	kg		"	諸雑費		式	1	"	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																		
溶接工		人		表3.1																																		
普通作業員		"		"																																		
酸素	ボンベ	m		"																																		
アセチレン	ボンベ	kg		"																																		
諸雑費		式	1	"																																		
計																																						

土木工事標準歩掛の改定 現場吹付法枠工

工種名	現 行	改 定	適 用																				
現場吹付法 枠工	<p>①-4 現場吹付法枠工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、命綱を用いて自由に変形可能な型枠鉄筋のプレハブ部材を地山等に設置し、そのプレハブ部材内にモルタル又はコンクリート類を吹付けて法枠構造を作る工法における法面清掃工、枠内中詰工のみ適用する。 なお、ラス張工、法枠組立・据付工、アンカー工、法枠吹付工、枠内吹付工を行う場合の現場吹付法枠工については適用しない。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> </div> <p>3. 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>植生土のう</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. ラフテレーンクレーンの規格は、上表を標準とするが、現場条件、調達条件等により、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> </div>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊	台	1	植生土のう	<p>①-7 現場吹付法枠工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、仮設ロープを用いて自由に変形可能な型枠鉄筋のプレハブ部材を地山等に設置し、そのプレハブ部材内にモルタル又はコンクリート類を吹付けて法枠構造を作る工法における法面清掃工、枠内中詰工のみ適用する。 なお、ラス張工、法枠組立・据付工、アンカー工、法枠吹付工、枠内吹付工については適用しない。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> </div> <p>3. 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>植生土のう</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. ラフテレーンクレーンの規格は、上表を標準とするが、現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> </div>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊	台	1	植生土のう	
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																			
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊	台	1	植生土のう																			
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																			
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊	台	1	植生土のう																			

**土木工事標準歩掛の改定
現場吹付法枠工**

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																								
現場吹付法 枠工	<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 法面清掃工</p> <p>法面清掃工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 法面清掃工歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td>法 面 清 掃 面 積 (A)</td> <td>m²</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">編 成 人 員</td> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>法 面 工</td> <td>"</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>"</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、空気圧縮機、命綱等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 法面残土処理(積込み、運搬)が生じた場合は、別途考慮する。 3. 法面清掃は、全施工面積を対象とし、法面整形後の場合でも法面清掃は計上する。</p> <p>4-2 枠内中詰工</p> <p>(1) 枠内中詰工(植生土のう)歩掛</p> <p>枠内中詰工(植生土のう)の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 枠内中詰工(植生土のう)歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td>設 置 数 (N)</td> <td>袋</td> <td>641</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">編 成 人 員</td> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>法 面 工</td> <td>"</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>"</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>使 用 機 械</td> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、命綱等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 植生土のう製作及び植生土のう以外については、「第2編3章共通工①-1コンクリート法枠工(プレキャスト法枠工)」により別途計上する。</p> <p>4-3 ラス張工、法枠組立・据付工、アンカー工、法枠吹付工、枠内吹付工を行う場合の現場吹付法枠工 ラス張工、法枠組立・据付工、アンカー工、法枠吹付工、枠内吹付工を行う場合の現場吹付法枠工は、市場単価により別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	日 当 り 施 工 量	法 面 清 掃 面 積 (A)	m ²	219	編 成 人 員	土 木 一 般 世 話 役	人	1	法 面 工	"	3	普 通 作 業 員	"	1	諸 雑 費 率	%	15	名 称	単 位	数 量	日 当 り 施 工 量	設 置 数 (N)	袋	641	編 成 人 員	土 木 一 般 世 話 役	人	1	法 面 工	"	6	普 通 作 業 員	"	2	使 用 機 械	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	台	1	諸 雑 費 率	%	0.1	<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 法面清掃工</p> <p>法面清掃工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 法面清掃工歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td>法 面 清 掃 面 積 (A)</td> <td>m²</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">編 成 人 員</td> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>法 面 工</td> <td>"</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>"</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、仮設ロープ、ライフライン(仮設ロープの予備)、仮設ロープ・ライフライン固定用の単管、クランプ、スコップ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 法面残土処理(積込み、運搬)が生じた場合は、別途考慮する。 3. 法面清掃は、全施工面積を対象とし、法面整形後の場合でも法面清掃は計上する。 4. 空気圧縮機を使用する場合等、上表により難しい場合は別途考慮する。</p> <p>4-2 枠内中詰工</p> <p>枠内中詰工(植生土のう)歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 枠内中詰工(植生土のう)歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td>設 置 数 (N)</td> <td>袋</td> <td>641</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">編 成 人 員</td> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>法 面 工</td> <td>"</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>"</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>使 用 機 械</td> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、仮設ロープ、ライフライン(仮設ロープの予備)、仮設ロープ・ライフライン固定用の単管等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 植生土のう製作及び植生土のう以外については、「第2編3章共通工①-1コンクリート法枠工(プレキャスト法枠工)」により別途計上する。</p> <p>4-3 法枠組立・据付工、アンカー工、法枠吹付工、枠内吹付工を行う場合の現場吹付法枠工 法枠組立・据付工、アンカー工、法枠吹付工、枠内吹付工を行う場合の現場吹付法枠工は、市場単価により別途計上する。</p> <p>4-4 ラス張工</p> <p>ラス張が必要な場合は、法面清掃の有無にかかわらず市場単価により別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	日 当 り 施 工 量	法 面 清 掃 面 積 (A)	m ²	219	編 成 人 員	土 木 一 般 世 話 役	人	1	法 面 工	"	4	普 通 作 業 員	"	1	諸 雑 費 率	%	3	名 称	単 位	数 量	日 当 り 施 工 量	設 置 数 (N)	袋	641	編 成 人 員	土 木 一 般 世 話 役	人	1	法 面 工	"	6	普 通 作 業 員	"	2	使 用 機 械	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	台	1	諸 雑 費 率	%	2	
	名 称	単 位	数 量																																																																																								
	日 当 り 施 工 量	法 面 清 掃 面 積 (A)	m ²	219																																																																																							
編 成 人 員	土 木 一 般 世 話 役	人	1																																																																																								
	法 面 工	"	3																																																																																								
	普 通 作 業 員	"	1																																																																																								
諸 雑 費 率	%	15																																																																																									
名 称	単 位	数 量																																																																																									
日 当 り 施 工 量	設 置 数 (N)	袋	641																																																																																								
編 成 人 員	土 木 一 般 世 話 役	人	1																																																																																								
	法 面 工	"	6																																																																																								
	普 通 作 業 員	"	2																																																																																								
使 用 機 械	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	台	1																																																																																								
諸 雑 費 率	%	0.1																																																																																									
名 称	単 位	数 量																																																																																									
日 当 り 施 工 量	法 面 清 掃 面 積 (A)	m ²	219																																																																																								
編 成 人 員	土 木 一 般 世 話 役	人	1																																																																																								
	法 面 工	"	4																																																																																								
	普 通 作 業 員	"	1																																																																																								
諸 雑 費 率	%	3																																																																																									
名 称	単 位	数 量																																																																																									
日 当 り 施 工 量	設 置 数 (N)	袋	641																																																																																								
編 成 人 員	土 木 一 般 世 話 役	人	1																																																																																								
	法 面 工	"	6																																																																																								
	普 通 作 業 員	"	2																																																																																								
使 用 機 械	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	台	1																																																																																								
諸 雑 費 率	%	2																																																																																									

土木工事標準歩掛の改定
現場吹付法枠工

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																																																																													
現場吹付法 枠工	<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) 法面清掃100㎡当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/A</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>法 面 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3×100/A</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/A</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) A : 日当り施工量 (㎡/日)</p> <p>(2) 枠内中詰 (植生土のう) 1,000袋当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×1,000/N</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>法 面 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6×1,000/N</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×1,000/N</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊</td> <td>日</td> <td>1×1,000/N</td> <td>表4.2 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N : 日当り施工量 (袋/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×100/A	表4.1	法 面 工		〃	3×100/A	〃	普通作業員		〃	1×100/A	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×1,000/N	表4.2	法 面 工		〃	6×1,000/N	〃	普通作業員		〃	2×1,000/N	〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊	日	1×1,000/N	表4.2 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.2	計					<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) 法面清掃100㎡当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/A</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>法 面 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4×100/A</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) A : 日当り施工量 (㎡/日)</p> <p>(2) 枠内中詰 (植生土のう) 1,000袋当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×1,000/N</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>法 面 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6×1,000/N</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×1,000/N</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊</td> <td>日</td> <td>1×1,000/N</td> <td>表4.2 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N : 日当り施工量 (袋/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×100/A	表4.1	法 面 工		〃	4×100/A	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土木一般世話役		人	1×1,000/N	表4.2	法 面 工		〃	6×1,000/N	〃	普通作業員		〃	2×1,000/N	〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊	日	1×1,000/N	表4.2 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表4.2	計					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																											
土木一般世話役		人	1×100/A	表4.1																																																																																																																												
法 面 工		〃	3×100/A	〃																																																																																																																												
普通作業員		〃	1×100/A	〃																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																												
計																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																												
土木一般世話役		人	1×1,000/N	表4.2																																																																																																																												
法 面 工		〃	6×1,000/N	〃																																																																																																																												
普通作業員		〃	2×1,000/N	〃																																																																																																																												
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊	日	1×1,000/N	表4.2 機械賃料																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	表4.2																																																																																																																												
計																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																												
土木一般世話役		人	1×100/A	表4.1																																																																																																																												
法 面 工		〃	4×100/A	〃																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																												
計																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																												
土木一般世話役		人	1×1,000/N	表4.2																																																																																																																												
法 面 工		〃	6×1,000/N	〃																																																																																																																												
普通作業員		〃	2×1,000/N	〃																																																																																																																												
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 50t吊	日	1×1,000/N	表4.2 機械賃料																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	表4.2																																																																																																																												
計																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の改定
雪寒仮囲い工

工種名	現 行	改 定	適 用
雪寒仮囲い工	<p>⑪-2 雪寒仮囲い工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、積雪寒冷地の冬期における土木構造物の施工において、平均設置高 30m以下の「雪寒仮囲い」を設置する工事に適用する。 なお、小型構造物には適用しない。</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[雪寒仮囲い材料搬入] --> B[設置] B -.-> C[本工事] C -.-> D[撤去] D --> E[雪寒仮囲い材料搬出] </pre> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p> </div> <p>2-2 施工歩掛補正 仮囲い内の作業は、冬期歩掛労務補正の割増率を1/3に補正して適用するものとする。 なお、仮囲いの設置、撤去作業には1/3の補正は適用しない。</p>	<p>⑫-2 雪寒仮囲い工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、積雪寒冷地の冬期における土木構造物の施工において、平均設置高 30m以下の「雪寒仮囲い」を設置する工事に適用する。 なお、Pタイプで設置高 4mを超える場合、及び小型構造物には適用しない。</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[雪寒仮囲い材料搬入] --> B[設置] B -.-> C[本工事] C -.-> D[撤去] D --> E[雪寒仮囲い材料搬出] </pre> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー</p> </div> <p>2-2 施工歩掛補正 仮囲い内の作業は、冬期歩掛労務補正の割増率を1/3に補正して適用するものとする。 なお、仮囲いの設置、撤去作業には1/3の補正は適用しない。</p>	

土木工事標準歩掛の改定
雪寒仮囲い工

工種名	現 行	改 定	適 用																																					
雪寒仮囲い工	<p>3. 仮囲いタイプ及び機種を選定 3-1 仮囲いタイプの選定 仮囲いタイプの選定は、次図を標準とする。</p> <p>(注) $H_1 = h + 1.8 - (B_1 \div 2) \times 10\%$ (m) もしくは、 $H_1 = h_1 + 1.8 - (b + 0.5 + 1.2) \times 10\%$ (m) H_1: 谷側での仮囲い高さ h: 構造物高さ h_1: 谷側での構造物高さ B_1: 仮囲い幅 (奥行) b: 構造物幅 (奥行)</p> <p>図3-1 仮囲いタイプの選定 表3.1 仮囲いの構成部材</p> <table border="1" data-bbox="369 1046 976 1171"> <thead> <tr> <th></th> <th>囲い枠部材</th> <th>屋根梁・屋根受け梁部材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Pタイプ</td> <td>パイプサポート+シート</td> <td>単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等</td> </tr> <tr> <td>Wタイプ</td> <td>枠組足場+シート</td> <td>単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等</td> </tr> <tr> <td>PWタイプ</td> <td>枠組足場+パイプサポート+シート</td> <td>単管パイプ・既製ビーム・H形鋼等</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 機種を選定 仮設材の持上げ(下げ)機種は、次表を標準とする。</p> <p>表3.2 機種を選定(仮設材の持上げ(下げ)機械)</p> <table border="1" data-bbox="414 1273 909 1339"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>		囲い枠部材	屋根梁・屋根受け梁部材	Pタイプ	パイプサポート+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等	Wタイプ	枠組足場+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等	PWタイプ	枠組足場+パイプサポート+シート	単管パイプ・既製ビーム・H形鋼等	機 械 名	規 格	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t 吊	<p>3. 仮囲いタイプ及び機種を選定 3-1 仮囲いタイプの選定 仮囲いタイプの選定は、次図を標準とする。</p> <p>(注) $H_1 = h + 1.8 - (B_1 \div 2) \times 10\%$ (m) もしくは、 $H_1 = h_1 + 1.8 - (b + 0.5 + 1.2) \times 10\%$ (m) H_1: 谷側での仮囲い高さ h: 構造物高さ h_1: 谷側での構造物高さ B_1: 仮囲い幅 (奥行) b: 構造物幅 (奥行)</p> <p>図3-1 仮囲いタイプの選定 表3.1 仮囲いの構成部材</p> <table border="1" data-bbox="1211 1046 1818 1171"> <thead> <tr> <th></th> <th>囲い枠部材</th> <th>屋根梁・屋根受け梁部材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Pタイプ</td> <td>パイプサポート+シート</td> <td>単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等</td> </tr> <tr> <td>Wタイプ</td> <td>枠組足場+シート</td> <td>単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等</td> </tr> <tr> <td>PWタイプ</td> <td>枠組足場+パイプサポート+シート</td> <td>単管パイプ・既製ビーム・H形鋼等</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 機種を選定 仮設材の持上げ(下げ)機種は、次表を標準とする。</p> <p>表3.2 機種を選定(仮設材の持上げ(下げ)機械)</p> <table border="1" data-bbox="1162 1257 1818 1386"> <thead> <tr> <th>タイプ</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Pタイプ</td> <td>バックホウ(クローラ型)</td> <td>標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制) 山積/平積み 0.8/0.6m³ 吊能力 2.9t</td> </tr> <tr> <td>W・PWタイプ</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制) 25t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) バックホウ(クローラ型)、ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>		囲い枠部材	屋根梁・屋根受け梁部材	Pタイプ	パイプサポート+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等	Wタイプ	枠組足場+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等	PWタイプ	枠組足場+パイプサポート+シート	単管パイプ・既製ビーム・H形鋼等	タイプ	機 械 名	規 格	Pタイプ	バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制) 山積/平積み 0.8/0.6m ³ 吊能力 2.9t	W・PWタイプ	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制) 25t 吊	
	囲い枠部材	屋根梁・屋根受け梁部材																																						
Pタイプ	パイプサポート+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等																																						
Wタイプ	枠組足場+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等																																						
PWタイプ	枠組足場+パイプサポート+シート	単管パイプ・既製ビーム・H形鋼等																																						
機 械 名	規 格																																							
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t 吊																																							
	囲い枠部材	屋根梁・屋根受け梁部材																																						
Pタイプ	パイプサポート+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等																																						
Wタイプ	枠組足場+シート	単管パイプ・既製ビーム・I形鋼・H形鋼等																																						
PWタイプ	枠組足場+パイプサポート+シート	単管パイプ・既製ビーム・H形鋼等																																						
タイプ	機 械 名	規 格																																						
Pタイプ	バックホウ(クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2011年規制) 山積/平積み 0.8/0.6m ³ 吊能力 2.9t																																						
W・PWタイプ	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2011年規制) 25t 吊																																						

土木工事標準歩掛の改定

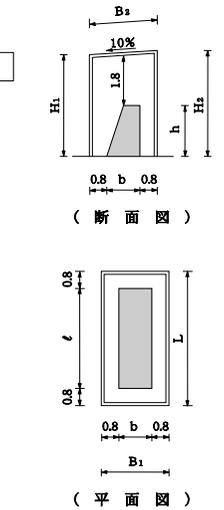
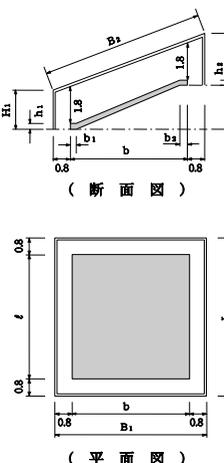
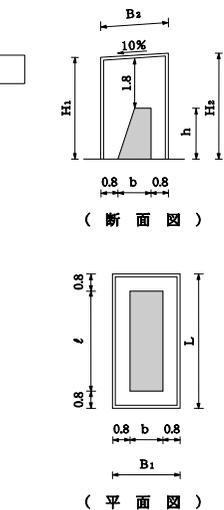
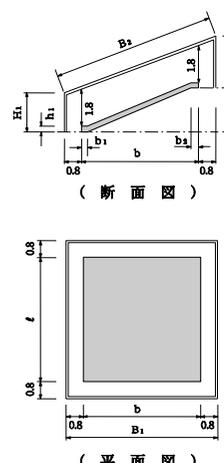
雪寒仮囲い工

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																														
雪寒仮囲い工	<p>4. 設置・撤去歩掛</p> <p>4-1 Pタイプの設置・撤去歩掛 Pタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 雪寒仮囲い設置・撤去歩掛(Pタイプ) (100㎡当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>"</td> <td>5.6</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>日</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 仮囲いの面積算出にあたっては、「7. 数量算出基準」を参照のこと。</p> <p>4-2 Wタイプ・PWタイプの設置・撤去歩掛 Wタイプ・PWタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 雪寒仮囲い設置・撤去歩掛(W・PWタイプ) (100㎡当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>桝組足場部 (S₁)</th> <th>桝組足場以外 (S₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1.5</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td>"</td> <td>5.6</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>"</td> <td>5.0</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>日</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>45</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 仮囲い用の足場幅は、1.2mを標準とする。 2. 諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 「桝組足場部」は構造物天端の高さまでであり、「桝組足場以外」は構造物天端以上の屋根部分とする。(7. 数量算出基準を参照) 4. 上記歩掛は、足場を兼用した仮囲いの設置・撤去歩掛であり、兼用出来ない場合の足場は必要数量を別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役	人	1.3	普 通 作 業 員	"	5.6	ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	1.0	諸 雑 費 率	%	11	名 称	単 位	桝組足場部 (S ₁)	桝組足場以外 (S ₂)	土 木 一 般 世 話 役	人	1.5	1.4	と び 工	"	5.6	4.2	普 通 作 業 員	"	5.0	4.7	ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	0.8	0.8	諸 雑 費 率	%	45	12	<p>4. 設置・撤去歩掛</p> <p>4-1 Pタイプの設置・撤去歩掛 Pタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 雪寒仮囲い設置・撤去歩掛(Pタイプ) (100㎡当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>"</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)運転</td> <td>日</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 仮囲いの面積算出にあたっては、「7. 数量算出基準」を参照のこと。</p> <p>4-2 Wタイプ・PWタイプの設置・撤去歩掛 Wタイプ・PWタイプ雪寒仮囲いの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 雪寒仮囲い設置・撤去歩掛(W・PWタイプ) (100㎡当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>桝組足場部 (S₁)</th> <th>桝組足場以外 (S₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>人</td> <td>2.2</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td>"</td> <td>9.6</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>"</td> <td>6.7</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>26</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 仮囲い用の足場幅は、1.2mを標準とする。 2. 諸雑費は、仮囲い仮設材等の費用であり、労務費と機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 「桝組足場部」は構造物天端の高さまでであり、「桝組足場以外」は構造物天端以上の屋根部分とする。(7. 数量算出基準を参照) 4. 上記歩掛は、足場を兼用した仮囲いの設置・撤去歩掛であり、兼用出来ない場合の足場は必要数量を別途計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	土 木 一 般 世 話 役	人	1.1	普 通 作 業 員	"	4.7	バックホウ(クローラ型)運転	日	0.6	諸 雑 費 率	%	22	名 称	単 位	桝組足場部 (S ₁)	桝組足場以外 (S ₂)	土 木 一 般 世 話 役	人	2.2	1.1	と び 工	"	9.6	4.5	普 通 作 業 員	"	6.7	2.5	ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	0.2	0.2	諸 雑 費 率	%	26	14	
	名 称	単 位	数 量																																																																														
土 木 一 般 世 話 役	人	1.3																																																																															
普 通 作 業 員	"	5.6																																																																															
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	1.0																																																																															
諸 雑 費 率	%	11																																																																															
名 称	単 位	桝組足場部 (S ₁)	桝組足場以外 (S ₂)																																																																														
土 木 一 般 世 話 役	人	1.5	1.4																																																																														
と び 工	"	5.6	4.2																																																																														
普 通 作 業 員	"	5.0	4.7																																																																														
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	0.8	0.8																																																																														
諸 雑 費 率	%	45	12																																																																														
名 称	単 位	数 量																																																																															
土 木 一 般 世 話 役	人	1.1																																																																															
普 通 作 業 員	"	4.7																																																																															
バックホウ(クローラ型)運転	日	0.6																																																																															
諸 雑 費 率	%	22																																																																															
名 称	単 位	桝組足場部 (S ₁)	桝組足場以外 (S ₂)																																																																														
土 木 一 般 世 話 役	人	2.2	1.1																																																																														
と び 工	"	9.6	4.5																																																																														
普 通 作 業 員	"	6.7	2.5																																																																														
ラ フ テ レ ン ク レ ー ン 運 転	日	0.2	0.2																																																																														
諸 雑 費 率	%	26	14																																																																														

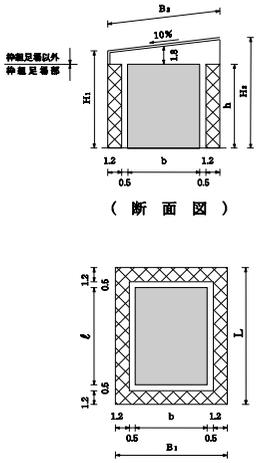
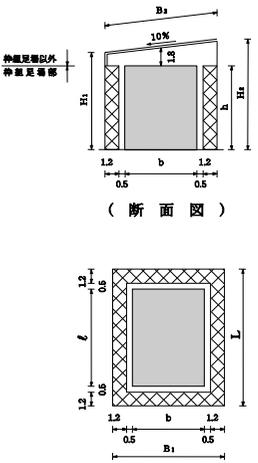
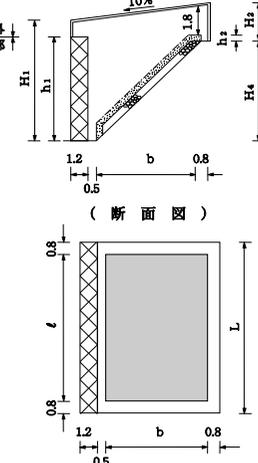
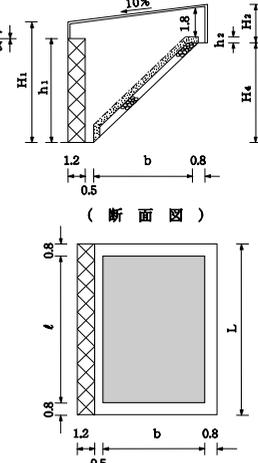
土木工事標準歩掛の改定
雪寒仮囲い工

工種名	現 行	改 定	適 用																																																																											
雪寒仮囲い工	<p>5. 養生工(Pタイプ, Wタイプ, PWタイプ共通) 仮囲い内でのコンクリート養生は、「第5編3章コンクリート工①コンクリート工」を標準とし、特殊養生（仮囲い内ジェットヒータ養生）を行う場合は下記を適用する。</p> <p>5-1 特殊養生（仮囲い内ジェットヒータ養生） (1) 機種及び施工歩掛 仮囲い内でのジェットヒータによる養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 養生歩掛(仮囲い内ジェットヒータ養生) (10㎡当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 連 転</td> <td>油だき・熱風・直火型 熱出力126MJ/h(30,100kcal/h)</td> <td>h</td> <td>30</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機 運 転</td> <td>ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ジェットヒータは、賃料とする。</p> <p>(2) 運転時間 ジェットヒータによる養生に要する施工機械運転日当り運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 施工機械運転日当り運転時間 (h/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転</td> <td>h</td> <td>18.5</td> <td>15.2</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機 運 転</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ジェットヒータ運転時間当り燃料消費量は、灯油3.60/hとする。</p> <p>6. 除 雪 工 6-1 除雪（仮囲い屋根部） 仮囲い屋根部に50cm以上の積雪があった場合を対象とし、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 除雪歩掛(仮囲い屋根部) (10㎡当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>Pタイプ, Wタイプ, PWタイプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>除雪量 (㎡) $V=A \times H$ A: 除雪対象面積 (屋根面積) (㎡) H: 積雪深 (m)</p>	名 称	規 格	単位	数 量		無筋構造物	鉄筋構造物	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 連 転	油だき・熱風・直火型 熱出力126MJ/h(30,100kcal/h)	h	30	28	発 動 発 電 機 運 転	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA				名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転	h	18.5	15.2	発 動 発 電 機 運 転				名 称	単 位	Pタイプ, Wタイプ, PWタイプ	普 通 作 業 員	人	0.4	<p>5. 養生工(Pタイプ, Wタイプ, PWタイプ共通) 仮囲い内でのコンクリート養生は、「第5編3章コンクリート工①コンクリート工」を標準とし、特殊養生（仮囲い内ジェットヒータ養生）を行う場合は下記を適用する。</p> <p>5-1 特殊養生（仮囲い内ジェットヒータ養生） (1) 機種及び施工歩掛 仮囲い内でのジェットヒータによる養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 養生歩掛(仮囲い内ジェットヒータ養生) (10㎡当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>—</td> <td>人</td> <td>0.15</td> <td>0.14</td> </tr> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 連 転</td> <td>油だき・熱風・直火型 熱出力126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>日</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機 運 転</td> <td>ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA</td> <td>日</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ジェットヒータは、賃料とする。</p> <p>(2) 運転時間 ジェットヒータによる養生に要する施工機械運転日当り運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 施工機械運転日当り運転時間 (h/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転</td> <td>h</td> <td>18.5</td> <td>15.2</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機 運 転</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ジェットヒータ運転時間当り燃料消費量は、灯油3.60/hとする。 2. 発動発電機運転時間当り燃料消費量は、「第2編1章一般事項②原動機燃料消費量」による。</p> <p>6. 除 雪 工 6-1 除雪（仮囲い屋根部） 仮囲い屋根部に50cm以上の積雪があった場合を対象とし、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 除雪歩掛(仮囲い屋根部) (10㎡当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>Pタイプ, Wタイプ, PWタイプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.41</td> </tr> </tbody> </table> <p>除雪量 (㎡) $V=A \times H$ A: 除雪対象面積 (屋根面積) (㎡) H: 積雪深 (m)</p>	名 称	規 格	単位	数 量		無筋構造物	鉄筋構造物	普 通 作 業 員	—	人	0.15	0.14	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 連 転	油だき・熱風・直火型 熱出力126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油	日	1.6	1.8	発 動 発 電 機 運 転	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	日	1.6	1.8	名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転	h	18.5	15.2	発 動 発 電 機 運 転				名 称	単 位	Pタイプ, Wタイプ, PWタイプ	普 通 作 業 員	人	0.41	
名 称	規 格				単位	数 量																																																																								
		無筋構造物	鉄筋構造物																																																																											
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 連 転	油だき・熱風・直火型 熱出力126MJ/h(30,100kcal/h)	h	30	28																																																																										
発 動 発 電 機 運 転	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA																																																																													
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物																																																																											
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転	h	18.5	15.2																																																																											
発 動 発 電 機 運 転																																																																														
名 称	単 位	Pタイプ, Wタイプ, PWタイプ																																																																												
普 通 作 業 員	人	0.4																																																																												
名 称	規 格	単位	数 量																																																																											
			無筋構造物	鉄筋構造物																																																																										
普 通 作 業 員	—	人	0.15	0.14																																																																										
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] 連 転	油だき・熱風・直火型 熱出力126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油	日	1.6	1.8																																																																										
発 動 発 電 機 運 転	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	日	1.6	1.8																																																																										
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物																																																																											
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転	h	18.5	15.2																																																																											
発 動 発 電 機 運 転																																																																														
名 称	単 位	Pタイプ, Wタイプ, PWタイプ																																																																												
普 通 作 業 員	人	0.41																																																																												

土木工事標準歩掛の改定
雪寒仮囲い工

工種名	現 行	改 定	適用
雪寒仮囲い工	<p>7. 数量算出基準 雪寒仮囲いの数量算出においては、下記を標準とする。 なお、数量算出基準の仮囲い面積とは、壁面及び屋根部の計5面の外面積を対象としている。</p> <p>7-1 Pタイプ (1) Pタイプ (標準タイプ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> $S = L \times (H_1 + H_2 + B_2) + B_1 \times (H_1 + H_2) \quad (\text{m}^2)$ </div> <p>S : 仮囲い面積 (m²) b : 対象構造物の幅 (m) ℓ : 対象構造物の長さ (m) h : 対象構造物の高さ (m) B₁ : 仮囲いの底面の幅 (m) B₂ : 仮囲いの屋根の幅 (m)</p> $B_1 = b + 0.8 \times 2$ $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ <p>L : 仮囲いの長さ (m) L = ℓ + 0.8 × 2</p> <p>H₁ : 仮囲いの低い方の側面の高さ (m) H₁ = h + 1.8 - (B₁ ÷ 2) × 0.1</p> <p>H₂ : 仮囲いの高い方の側面の高さ (m) H₂ = h + 1.8 + (B₁ ÷ 2) × 0.1</p>  <p>(断面図)</p> <p>(平面図)</p> <p>(2) Pタイプ (ブロック張タイプ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> $S = L \times (H_1 + H_2 + B_2) + (b + 0.8 \times 2) \times (H_1 + H_2 + h) - h \times (b - b_1 + b_2 + 0.8 \times 2) \quad (\text{m}^2)$ </div> <p>S : 仮囲い面積 (m²) b : 対象構造物の幅 (m) ℓ : 対象構造物の長さ (m) h : 対象構造物の高さ (m) h₁ : 対象構造物の谷側での高さ (m) h₂ : 対象構造物の山側での高さ (m) B₁ : 仮囲いの断面の幅 (m) B₂ : 仮囲いの屋根の幅 (m) L : 仮囲いの長さ (m) L = ℓ + 0.8 × 2</p> <p>H₁ : 仮囲いの谷側の側面の高さ (m) H₂ : 仮囲いの山側の側面の高さ (m)</p>  <p>(断面図)</p> <p>(平面図)</p>	<p>7. 数量算出基準 雪寒仮囲いの数量算出においては、下記を標準とする。 なお、数量算出基準の仮囲い面積とは、壁面及び屋根部の計5面の外面積を対象としている。</p> <p>7-1 Pタイプ (1) Pタイプ (標準タイプ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> $S = L \times (H_1 + H_2 + B_2) + B_1 \times (H_1 + H_2) \quad (\text{m}^2)$ </div> <p>S : 仮囲い面積 (m²) b : 対象構造物の幅 (m) ℓ : 対象構造物の長さ (m) h : 対象構造物の高さ (m) B₁ : 仮囲いの底面の幅 (m) B₂ : 仮囲いの屋根の幅 (m)</p> $B_1 = b + 0.8 \times 2$ $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ <p>L : 仮囲いの長さ (m) L = ℓ + 0.8 × 2</p> <p>H₁ : 仮囲いの低い方の側面の高さ (m) H₁ = h + 1.8 - (B₁ ÷ 2) × 0.1</p> <p>H₂ : 仮囲いの高い方の側面の高さ (m) H₂ = h + 1.8 + (B₁ ÷ 2) × 0.1</p>  <p>(断面図)</p> <p>(平面図)</p> <p>(2) Pタイプ (ブロック張タイプ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> $S = L \times (H_1 + H_2 + B_2) + (b + 0.8 \times 2) \times (H_1 + H_2 + h) - h \times (b - b_1 + b_2 + 0.8 \times 2) \quad (\text{m}^2)$ </div> <p>S : 仮囲い面積 (m²) b : 対象構造物の幅 (m) ℓ : 対象構造物の長さ (m) h : 対象構造物の高さ (m) h₁ : 対象構造物の谷側での高さ (m) h₂ : 対象構造物の山側での高さ (m) B₁ : 仮囲いの断面の幅 (m) B₂ : 仮囲いの屋根の幅 (m) L : 仮囲いの長さ (m) L = ℓ + 0.8 × 2</p> <p>H₁ : 仮囲いの谷側の側面の高さ (m) H₂ : 仮囲いの山側の側面の高さ (m)</p>  <p>(断面図)</p> <p>(平面図)</p>	適用

土木工事標準歩掛の改定
雪寒仮囲い工

工種名	現 行	改 定	適用
雪寒仮囲い工	<p>7-2 Wタイプ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $S_1 = (2 \times (b + \ell) + 0.5 \times 8 + 1.2 \times 4) \times h \quad (\text{㎡})$ $S_2 = L \times (H_1 + H_2 + B_2 - h \times 2) + B_1 \times (H_1 + H_2 - h \times 2) \quad (\text{㎡})$ </div> <p> S_1 : 枠組足場面積 (㎡) S_2 : 枠組足場以外の面積 (㎡) b : 対象構造物の幅 (m) ℓ : 対象構造物の長さ (m) h : 対象構造物の高さ (m) B_1 : 仮囲いの底面の幅 (m) $B_2 = b + 0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$ B_2 : 仮囲いの屋根の幅 (m) $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ L : 仮囲いの長さ (m) $L = \ell + 0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$ H_1 : 仮囲いの低い方の側面の高さ (m) $H_1 = h + 1.8 - (B_1 \div 2) \times 0.1$ H_2 : 仮囲いの高い方の側面の高さ (m) $H_2 = h + 1.8 + (B_1 \div 2) \times 0.1$ </p>  <p>(断面図)</p> <p>(平面図)</p>	<p>7-2 Wタイプ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $S_1 = (2 \times (b + \ell) + 0.5 \times 8 + 1.2 \times 4) \times h \quad (\text{㎡})$ $S_2 = L \times (H_1 + H_2 + B_2 - h \times 2) + B_1 \times (H_1 + H_2 - h \times 2) \quad (\text{㎡})$ </div> <p> S_1 : 枠組足場面積 (㎡) S_2 : 枠組足場以外の面積 (㎡) b : 対象構造物の幅 (m) ℓ : 対象構造物の長さ (m) h : 対象構造物の高さ (m) B_1 : 仮囲いの底面の幅 (m) $B_2 = b + 0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$ B_2 : 仮囲いの屋根の幅 (m) $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ L : 仮囲いの長さ (m) $L = \ell + 0.5 \times 2 + 1.2 \times 2$ H_1 : 仮囲いの低い方の側面の高さ (m) $H_1 = h + 1.8 - (B_1 \div 2) \times 0.1$ H_2 : 仮囲いの高い方の側面の高さ (m) $H_2 = h + 1.8 + (B_1 \div 2) \times 0.1$ </p>  <p>(断面図)</p> <p>(平面図)</p>	
	<p>7-3 PWタイプ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $S_1 = (\ell + 0.8 \times 2) \times h_1 \quad (\text{㎡})$ $S_2 = L \times (H_1 + H_2 + B_2 - h_1) + B_1 \times (H_1 + H_2 - h_1 - h_2) + (b + 0.8 + 0.5) \times h_2 \times 2 + (b + 0.5 \times 2) \times (h_1 - h_2) \quad (\text{㎡})$ </div> <p> S_1 : 枠組足場面積 (㎡) S_2 : 枠組足場以外の面積 (㎡) b : 対象構造物の幅 (m) ℓ : 対象構造物の長さ (m) h_1 : 対象構造物の谷側での高さ (m) h_2 : 対象構造物の山側での高さ (m) B_1 : 仮囲いの断面の幅 (m) $B_1 = b + 0.5 + 0.8 + 1.2$ B_2 : 仮囲いの屋根の幅 (m) $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ L : 仮囲いの長さ (m) $L = \ell + 0.8 \times 2$ H_1 : 仮囲いの低い方 (谷側) の側面の高さ (m) $H_1 = h_1 + 1.8 - (b + 0.5 + 1.2) \times 0.1$ H_2 : 仮囲いの高い方 (山側) の側面の高さ (m) $H_2 = h_2 + 1.8 + 0.8 \times 0.1$ </p>  <p>(断面図)</p> <p>(平面図)</p>	<p>7-3 PWタイプ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $S_1 = (\ell + 0.8 \times 2) \times h_1 \quad (\text{㎡})$ $S_2 = L \times (H_1 + H_2 + B_2 - h_1) + B_1 \times (H_1 + H_2 - h_1 - h_2) + (b + 0.8 + 0.5) \times h_2 \times 2 + (b + 0.5 \times 2) \times (h_1 - h_2) \quad (\text{㎡})$ </div> <p> S_1 : 枠組足場面積 (㎡) S_2 : 枠組足場以外の面積 (㎡) b : 対象構造物の幅 (m) ℓ : 対象構造物の長さ (m) h_1 : 対象構造物の谷側での高さ (m) h_2 : 対象構造物の山側での高さ (m) B_1 : 仮囲いの断面の幅 (m) $B_1 = b + 0.5 + 0.8 + 1.2$ B_2 : 仮囲いの屋根の幅 (m) $B_2 = \sqrt{B_1^2 + (B_1 \times 0.1)^2}$ L : 仮囲いの長さ (m) $L = \ell + 0.8 \times 2$ H_1 : 仮囲いの低い方 (谷側) の側面の高さ (m) $H_1 = h_1 + 1.8 - (b + 0.5 + 1.2) \times 0.1$ H_2 : 仮囲いの高い方 (山側) の側面の高さ (m) $H_2 = h_2 + 1.8 + 0.8 \times 0.1$ </p>  <p>(断面図)</p> <p>(平面図)</p>	

土木工事標準歩掛の改定
雪寒仮囲い工

工種名	現 行	改 定	適用																																																																								
雪寒仮囲い工	<p>8. 単 価 表</p> <p>(1) 仮囲い設置撤去 (Pタイプ) 100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 3.2, 表 4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.1	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t 吊	日		表 3.2, 表 4.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 4.1	計					<p>8. 単 価 表</p> <p>(1) 仮囲い設置撤去 (Pタイプ) 100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>標準型・超低騒音型・クレーン機 能付き・排出ガス対策型(2011年 規制) 山積/平積み 0.8/0.6m3 吊 能力 2.9t</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 3.2, 表 4.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.1	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン 運 転	標準型・超低騒音型・クレーン機 能付き・排出ガス対策型(2011年 規制) 山積/平積み 0.8/0.6m3 吊 能力 2.9t	日		表 3.2, 表 4.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 4.1	計																	
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																						
	土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.1																																																																						
	普 通 作 業 員		〃		〃																																																																						
	ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t 吊	日		表 3.2, 表 4.1 機械賃料																																																																						
	諸 雑 費		式	1	表 4.1																																																																						
	計																																																																										
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																						
	土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.1																																																																						
	普 通 作 業 員		〃		〃																																																																						
	ラフテレーンクレーン 運 転	標準型・超低騒音型・クレーン機 能付き・排出ガス対策型(2011年 規制) 山積/平積み 0.8/0.6m3 吊 能力 2.9t	日		表 3.2, 表 4.1 機械賃料																																																																						
	諸 雑 費		式	1	表 4.1																																																																						
	計																																																																										
		<p>(2) 仮囲い設置撤去 (W・PWタイプ) 100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 4.2</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 3.2, 表 4.2 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 4.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.2	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t 吊	日		表 3.2, 表 4.2 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 4.2	計					<p>(2) 仮囲い設置撤去 (W・PWタイプ) 100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 4.2</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2011年規制) 25t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 3.2, 表 4.2 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 4.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.2	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2011年規制) 25t 吊	日		表 3.2, 表 4.2 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表 4.2	計						
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																						
土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.2																																																																							
と び 工		〃		〃																																																																							
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																							
ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t 吊	日		表 3.2, 表 4.2 機械賃料																																																																							
諸 雑 費		式	1	表 4.2																																																																							
計																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																							
土 木 一 般 世 話 役		人		表 4.2																																																																							
と び 工		〃		〃																																																																							
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																							
ラフテレーンクレーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2011年規制) 25t 吊	日		表 3.2, 表 4.2 機械賃料																																																																							
諸 雑 費		式	1	表 4.2																																																																							
計																																																																											
	<p>(3) 特殊養生工 (仮囲い内ジェットヒータ養生) 10㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転</td> <td>油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h(30, 100kcal/h)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表 5.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>発動発電機運転</td> <td>ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz) 2.7/3kVA</td> <td>〃</td> <td></td> <td>表 5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転	油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h(30, 100kcal/h)	h		表 5.1 機械賃料	発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz) 2.7/3kVA	〃		表 5.1 機械損料	計					<p>(3) 特殊養生工 (仮囲い内ジェットヒータ養生) 10㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 5.1</td> </tr> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転</td> <td>油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h(30, 100kcal/h)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 5.1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>発動発電機運転</td> <td>ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz) 2.7/3kVA</td> <td>h</td> <td></td> <td>表 5.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表 5.1	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転	油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h(30, 100kcal/h)	日		表 5.1 機械賃料	発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz) 2.7/3kVA	h		表 5.1 機械損料	計																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																							
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転	油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h(30, 100kcal/h)	h		表 5.1 機械賃料																																																																							
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz) 2.7/3kVA	〃		表 5.1 機械損料																																																																							
計																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																							
普 通 作 業 員		人		表 5.1																																																																							
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]運転	油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h(30, 100kcal/h)	日		表 5.1 機械賃料																																																																							
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz) 2.7/3kVA	h		表 5.1 機械損料																																																																							
計																																																																											
	<p>(4) 除雪工 (仮囲い屋根部) 10㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>表 6.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	0.4	表 6.1	諸 雑 費		式	1		計					<p>(4) 除雪工 (仮囲い屋根部) 10㎡当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 6.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表 6.1	諸 雑 費		式	1		計																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																							
普 通 作 業 員		人	0.4	表 6.1																																																																							
諸 雑 費		式	1																																																																								
計																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																							
普 通 作 業 員		人		表 6.1																																																																							
諸 雑 費		式	1																																																																								
計																																																																											
	<p>(5) ジェットヒータ運転1時間当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃 料 費</td> <td>灯油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表 5.2</td> </tr> <tr> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]</td> <td>油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h(30, 100kcal/h)</td> <td>h</td> <td>1</td> <td>時間当り賃料→ 賃料×1/表 5.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃 料 費	灯油	ℓ		表 5.2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h(30, 100kcal/h)	h	1	時間当り賃料→ 賃料×1/表 5.2	諸 雑 費		式	1		計																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																							
燃 料 費	灯油	ℓ		表 5.2																																																																							
業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	油だき・熱風・直火型 熱出力 126MJ/h(30, 100kcal/h)	h	1	時間当り賃料→ 賃料×1/表 5.2																																																																							
諸 雑 費		式	1																																																																								
計																																																																											

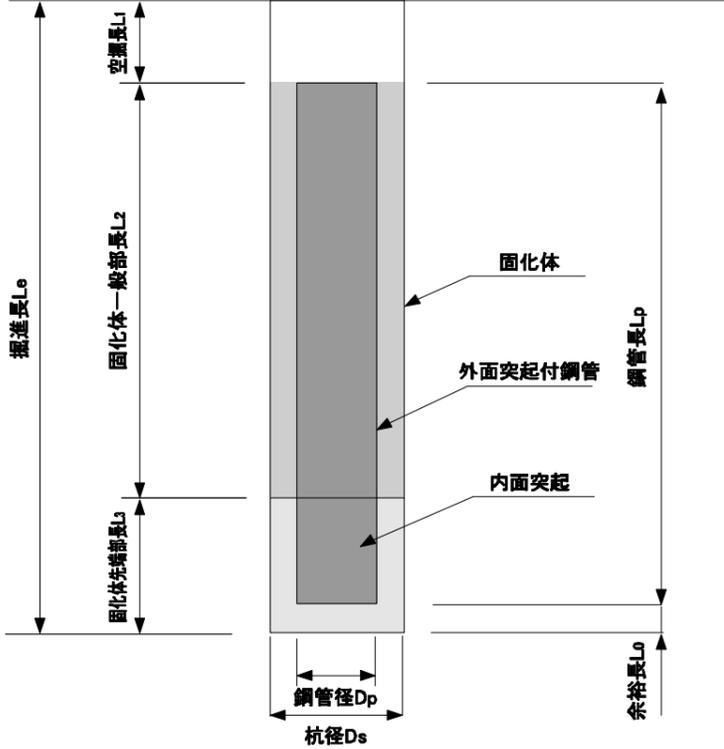
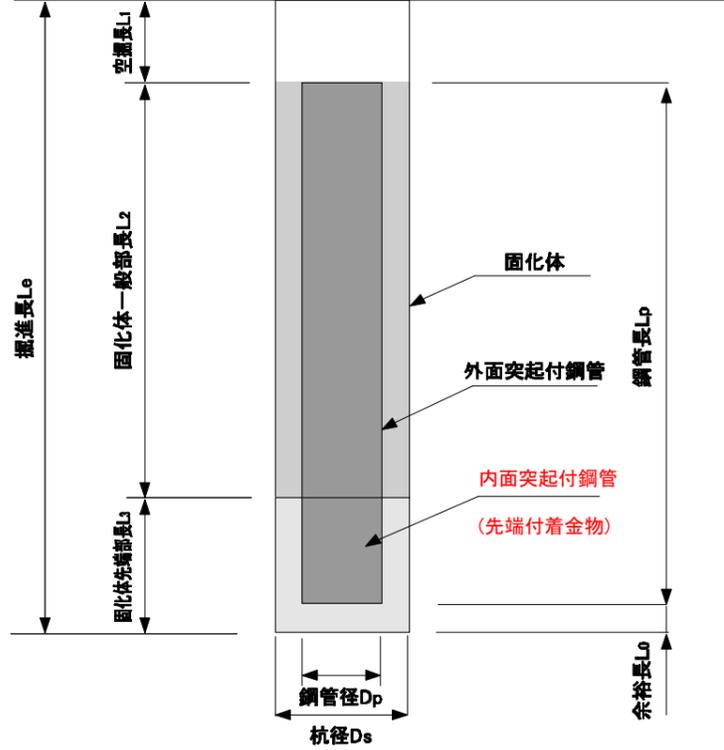
土木工事標準歩掛の改定
雪寒仮囲い工

工種名	現 行				改 定				適 用
雪寒仮囲い工	(6) 機械運転単価表				(5) 機械運転単価表				
	機 械 名	規 格	適 用 単価表	指 定 事 項	機 械 名	規 格	適 用 単価表	指 定 事 項	
	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	機-13	時間当り損料→ 1日当り損料×1/表5.2	バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機 能付き・排出ガス対策型(2011年 規制) 山積/平積み 0.8/0.6m3 吊能 力2.9t	機-28	運転労務数量→ 0.25 燃料消費量 → 18 機械賃料数量→ 1.02	
					業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ]	油だき・熱風・直火型 熱出力126MJ/h(30,100kcal/h) 油種 灯油	機-16	燃料消費量 → 表5.2 機械賃料数量→ 1.20	
	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 定格容量(50/60Hz)2.7/3kVA	機-24	燃料消費量 → 表5.2 機械損料数量→ 1.20					

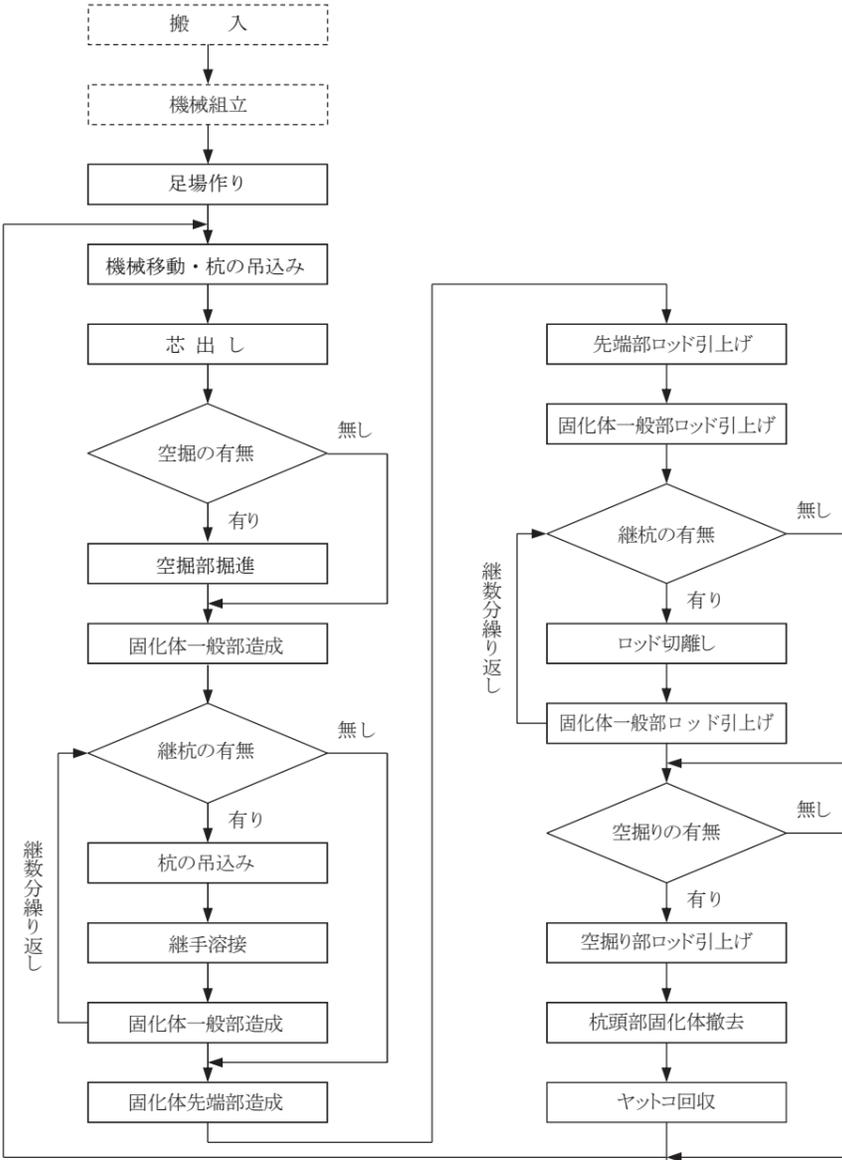
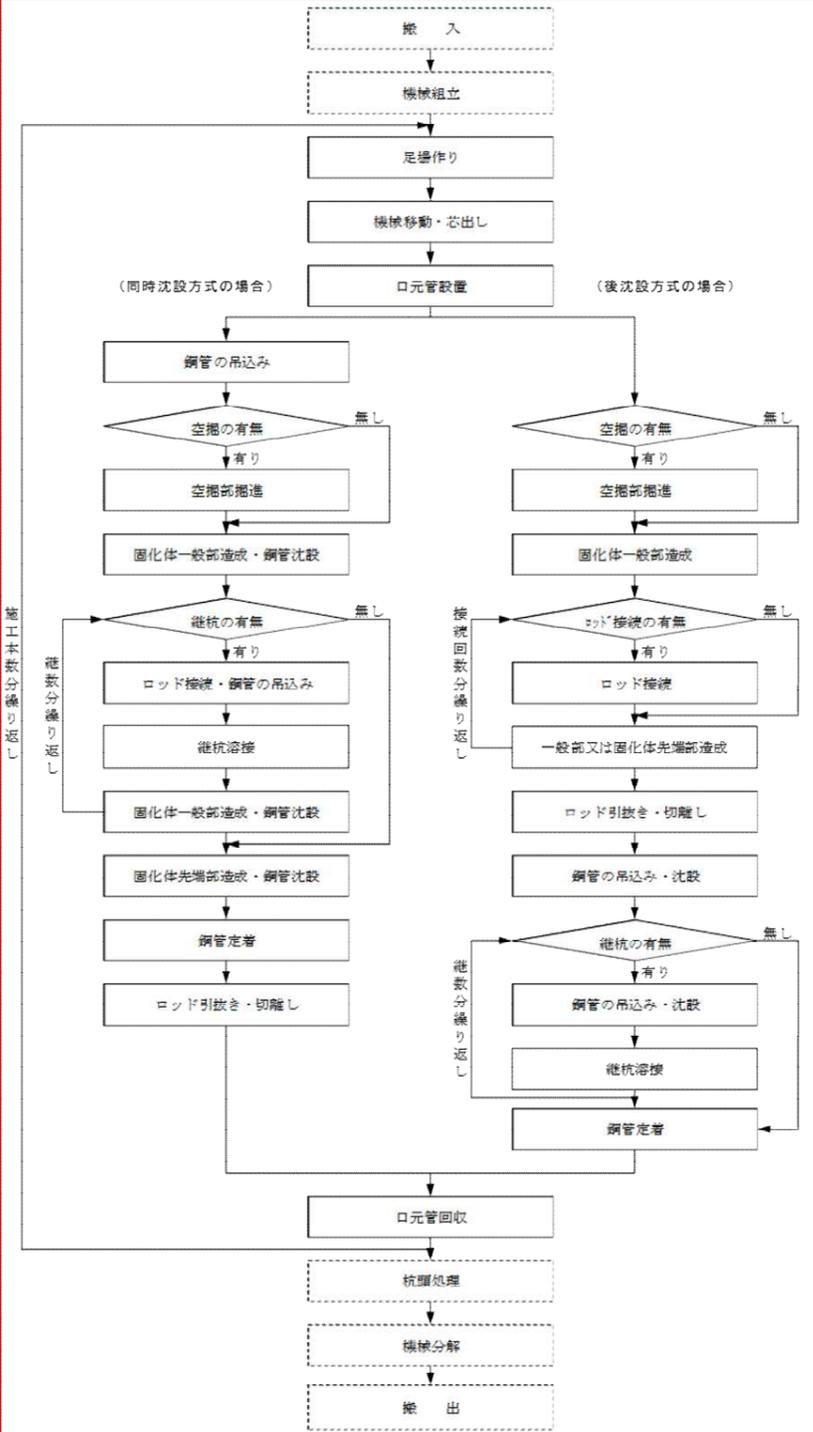
土木工事標準歩掛の改定
鋼管・既製コンクリート杭打ち（鋼管ソイルセメント杭工）

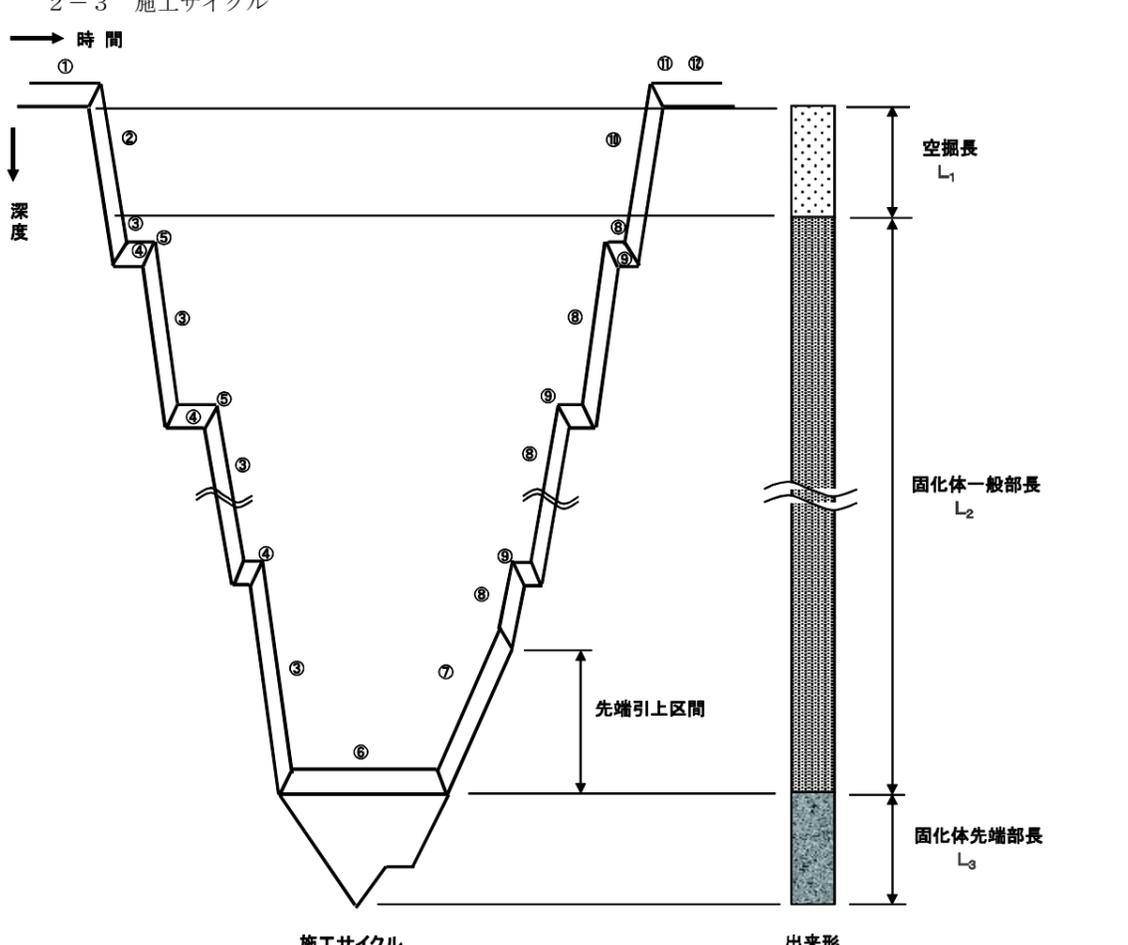
工種名	現行	改定	摘要
鋼管ソイルセメント杭工	<p>①-3 鋼管ソイルセメント杭工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、鋼管ソイルセメント杭工法（同時沈設方式）に適用する。杭径は800mmから1,200mm、掘進長は5mまでとする。</p>	<p>①-3 鋼管ソイルセメント杭工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、鋼管ソイルセメント杭工法に適用する。杭径は900mmから1,500mm、掘進長の適用範囲は次図とする。</p>	
		<p>図1-1 適用掘進長</p> <p>(注) 1. 最大板厚は現場で行う継杭溶接の最大板厚とする。なお、異なる板厚を溶接する工場溶接は含まない。 2. 現場で継杭溶接を行わない杭も適用できる。</p>	

土木工事標準歩掛の改定
鋼管・既製コンクリート杭打ち（鋼管ソイルセメント杭工）

工種名	現行	改定	摘要
鋼管ソイルセメント杭工	<p>2. 施工概要 2-1 施工内容 鋼管ソイルセメント杭工は、地盤中に注入攪拌したセメントミルクで造成した固化体と、それと同時に沈設した外面突起付鋼管による鋼管杭の施工である。</p>  <p>掘進長 $L_e = \text{空掘長 } L_1 + \text{固化体一般部長 } L_2 + \text{固化体先端部長 } L_3$ 先端部長 $L_3 = 1.5D_p + 0.5D_s$ 余裕長 $L_0 = 0.5D_s$</p> <p>図2-1 鋼管ソイルセメント杭のモデル図</p>	<p>2. 施工概要 2-1 施工内容 鋼管ソイルセメント杭工は、原地盤中にセメントミルクを注入し、攪拌混合して造成した固化体（ソイルセメント柱）に外面突起付鋼管を沈設し、両者を一体化させる杭工法である。なお、鋼管の沈設方式はソイルセメント柱を造成しながら沈設（同時沈設方式）と造成後に沈設（後沈設方式）がある。</p>  <p>掘進長 $L_e = \text{空掘長 } L_1 + \text{固化体一般部長 } L_2 + \text{固化体先端部長 } L_3$ 先端部長 $L_3 = 1.5D_p + 0.5D_s$ 余裕長 $L_0 = 0.5D_s$</p> <p>図2-1 鋼管ソイルセメント杭のモデル図</p>	

土木工事標準歩掛の改定
鋼管・既製コンクリート杭打工（鋼管ソイルセメント杭工）

工種名	現行	改定	摘要
鋼管ソイルセメント杭工	<p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-2 施工フロー</p>	<p>2-2 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-2 施工フロー</p>	

工種名	現行	改定	摘要
鋼管ソイルセメント杭工	<p>2-3 施工サイクル</p>  <p>①: 足場作り、機械移動、杭の吊込み、芯出し等 ②: 空掘り掘進 ③: 固化体一般部造成 ④: 溶接足場作り、杭吊込 ⑤: 継手溶接 ⑥: 固化体先端部造成 ⑦: 先端部ロッド引上げ ⑧: 固化体一般部ロッド引上げ ⑨: ロッド切離し ⑩: 空掘り部ロッド引上げ ⑪: 杭頭部固化体撤去 ⑫: ヤットコ回収</p> <p>図2-3 施工サイクル</p>	<p>削除</p>	

土木工事標準歩掛の改定
鋼管・既製コンクリート杭打工（鋼管ソイルセメント杭工）

工種名	現行	改定	摘要																																																																				
鋼管ソイルセメント杭工	<p>3. 機種 の 選 定</p> <p>機械・規格の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3. 1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径800～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>杭打機ベースマシン、 オーガモータ、 鋼管回転装置、 施工管理システムを含む</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 60～65 t 吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型（第1次基準値） 山積0.5m³（平積0.4m³）</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラリプラント（全自動）</td> <td>能力40m³/h</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径800～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110kW	台	1	杭打機ベースマシン、 オーガモータ、 鋼管回転装置、 施工管理システムを含む	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 60～65 t 吊	〃	1		バックホウ（クローラ型）	標準型・ 排出ガス対策型（第1次基準値） 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	〃	1		スラリプラント（全自動）	能力40m ³ /h	〃	1		<p>3. 機種 の 選 定</p> <p>機械・規格の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3. 1 機種 の 選 定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th colspan="2">継杭の有無</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>無 し</th> <th>有 り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 60～65 t 吊 排出ガス対策型（第1次基準値）</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 90 t 吊 排出ガス対策型（第3次基準値）</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型（第3次基準値） 山積0.5m³（平積0.4m³）</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラリプラント（全自動）</td> <td>能力40m³/h</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 継杭とは、現場で行う継杭溶接とし、工場で行う継杭溶接は含めない。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	継杭の有無		摘 要	無 し	有 り	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW	台	1	○	○		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 60～65 t 吊 排出ガス対策型（第1次基準値）	〃	1	○			油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 90 t 吊 排出ガス対策型（第3次基準値）	〃	1		○		バックホウ（クローラ型）	標準型・ 排出ガス対策型（第3次基準値） 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	〃	1	○	○		スラリプラント（全自動）	能力40m ³ /h	〃	1	○	○		
	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																		
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径800～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110kW	台	1	杭打機ベースマシン、 オーガモータ、 鋼管回転装置、 施工管理システムを含む																																																																			
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 60～65 t 吊	〃	1																																																																				
バックホウ（クローラ型）	標準型・ 排出ガス対策型（第1次基準値） 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	〃	1																																																																				
スラリプラント（全自動）	能力40m ³ /h	〃	1																																																																				
機 械 名	規 格	単 位	数 量	継杭の有無		摘 要																																																																	
				無 し	有 り																																																																		
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW	台	1	○	○																																																																		
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 60～65 t 吊 排出ガス対策型（第1次基準値）	〃	1	○																																																																			
	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 90 t 吊 排出ガス対策型（第3次基準値）	〃	1		○																																																																		
バックホウ（クローラ型）	標準型・ 排出ガス対策型（第3次基準値） 山積0.5m ³ （平積0.4m ³ ）	〃	1	○	○																																																																		
スラリプラント（全自動）	能力40m ³ /h	〃	1	○	○																																																																		
	<p>4. 日 当 り 編 成 人 員</p> <p>杭打作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4. 1 日 当 り 編 成 人 員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>とび工</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> <th>溶接工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2 (1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 継杭を施工しない場合は、溶接工を計上しない。なお、鋼管径が800mm未満については、() 内の数値を計上する。</p>	土木一般世話役	とび工	特殊作業員	普通作業員	溶接工	1	2	1	1	2 (1)	<p>4. 日 当 り 編 成 人 員</p> <p>日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4. 1 日 当 り 編 成 人 員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土木一般世話役</th> <th>とび工</th> <th>特殊作業員</th> <th>溶接工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2 (1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 継杭を施工しない場合は、溶接工を計上しない。なお、現場で行う継杭溶接が1箇所／本の場合は溶接工を計上するが溶接時間は計上しないこととする。 2. 鋼管径が800mm未満については、() 内の数値を計上する。</p>	土木一般世話役	とび工	特殊作業員	溶接工	1	2	1	2 (1)																																																			
土木一般世話役	とび工	特殊作業員	普通作業員	溶接工																																																																			
1	2	1	1	2 (1)																																																																			
土木一般世話役	とび工	特殊作業員	溶接工																																																																				
1	2	1	2 (1)																																																																				

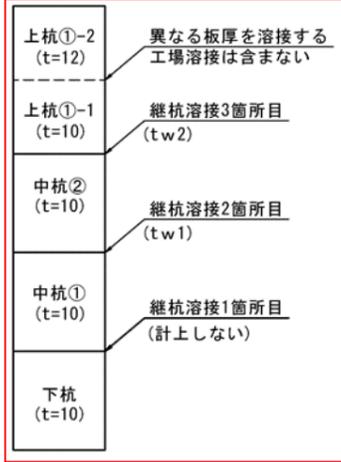
土木工事標準歩掛の改定
鋼管・既製コンクリート杭打工（鋼管ソイルセメント杭工）

工種名	現行	改定	摘要																							
鋼管ソイルセメント杭工	<p>5. 施工歩掛 杭1本当り施工時間（T_c）は、次式による。 $T_c = (T_g + T_l + T_w + T_s)$ T_c：杭1本当り施工時間（min/本） T_g： 〃 固化体部造成時間（min/本） T_l： 〃 ロッド引上げ時間（min/本） T_w： 〃 継手溶接時間（min/本） T_s： 〃 準備時間（min/本）</p> <p>5-1 杭1本当りの固化体造成時間 $T_g = T_{g1} + T_{g2} + T_{g3}$ T_g：杭1本当り固化体造成時間（min/本） T_{g1}：杭1本当り空掘部掘進時間（min/本） $T_{g1} = \alpha_1 \times L_1 / V_{g1}$ α_1：地盤係数（表5.1） L_1：空掘長（m） V_{g1}：空掘部標準掘進速度（m/min）（表5.2）</p> <p style="text-align: center;">表5.1 地盤係数（α_1）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>荷重平均N値</th> <th>地盤係数 α_1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N < 10</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>10 ≤ N < 30</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>30 ≤ N < 50</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table>	荷重平均N値	地盤係数 α_1	N < 10	1.0	10 ≤ N < 30	1.2	30 ≤ N < 50	1.4	<p>5. 施工歩掛 杭1本当り施工時間（T_c）は、次式による。 $T_c = T_g + T_s + T_w$ T_c：杭1本当り施工時間（min/本） T_g： 〃 固化体部造成時間（min/本） T_s： 〃 準備時間（min/本） T_w： 〃 継杭溶接時間（min/本）</p> <p>5-1 杭1本当りの固化体造成時間 $T_g = T_{g1} + T_{g2} + T_{g3}$ T_g：杭1本当り固化体造成時間（min/本） T_{g1}：杭1本当り空掘部造成時間（min/本） T_{g2}： 〃 一般部造成時間（min/本） T_{g3}： 〃 先端部造成時間（min/本）</p> <p>T_{g1}：杭1本当り空掘部造成時間 $T_{g1} = L_1 / V_{g1}$ L_1：空掘長（m） V_{g1}：空掘部掘進速度（m/min）（表5.1）</p> <p style="text-align: center;">表5.1 空掘部（V_{g1}）の掘進速度 (m/min)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th colspan="3">加重平均N値</th> </tr> <tr> <th>N < 10</th> <th>10 ≤ N < 30</th> <th>30 ≤ N < 50</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>900 ~ 1,400</td> <td>0.50</td> <td>0.45</td> <td>0.41</td> </tr> <tr> <td>1,500</td> <td>0.47</td> <td>0.43</td> <td>0.39</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、ロッド引抜き時間を含む。 2. 加重平均N値は空掘部のN値を加重平均する。</p>	杭径 (mm)	加重平均N値			N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50	900 ~ 1,400	0.50	0.45	0.41	1,500	0.47	0.43	0.39	
荷重平均N値	地盤係数 α_1																									
N < 10	1.0																									
10 ≤ N < 30	1.2																									
30 ≤ N < 50	1.4																									
杭径 (mm)	加重平均N値																									
	N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50																							
900 ~ 1,400	0.50	0.45	0.41																							
1,500	0.47	0.43	0.39																							

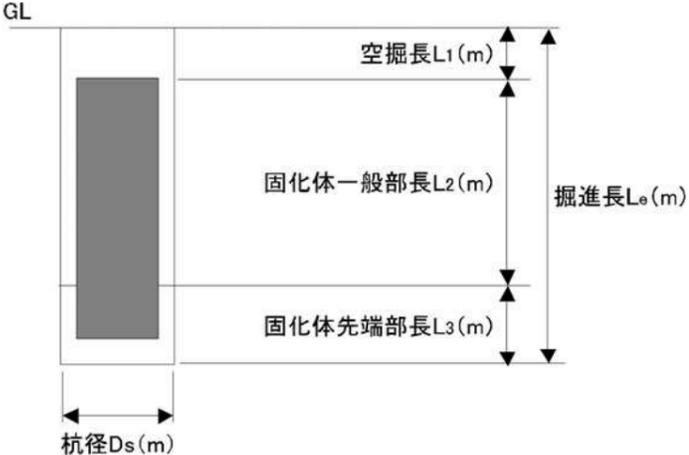
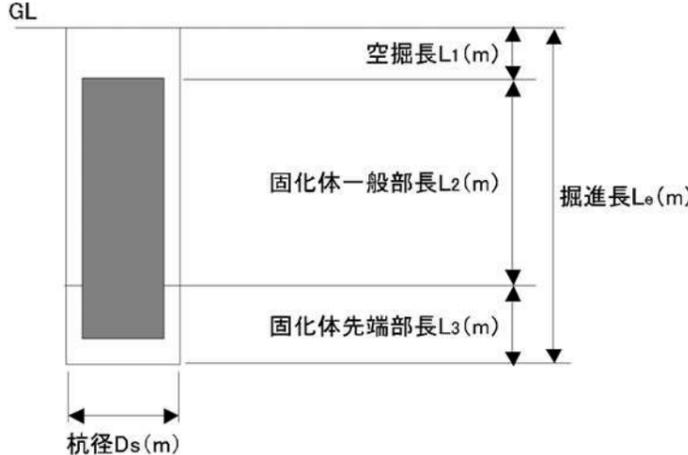
土木工事標準歩掛の改定
鋼管・既製コンクリート杭打工（鋼管ソイルセメント杭工）

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																																												
鋼管ソイルセメント杭工	<p>T_{g2} : 杭1本当り固化体一般部造成時間 (min/本)</p> $T_{g2} = \alpha_1 \times L_2 / V_{g2}$ <p>α_1 : 地盤係数 (表5. 1)</p> <p>L_2 : 固化体一般部長 (m)</p> <p>V_{g2} : 固化体一般部標準掘進速度 (m/min) (表5. 2)</p> <p>表5. 2 空掘部 (V_{g1})・固化体一般部 (V_{g2})の掘進速度 (m/min)</p> <table border="1" data-bbox="373 401 1368 968"> <thead> <tr> <th rowspan="3">杭径 (mm)</th> <th rowspan="3">W/C (%)</th> <th colspan="4">固化材添加量 (kg/m³)</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">空掘部</th> <th colspan="3">固化体一般部</th> </tr> <tr> <th>150</th> <th>250</th> <th>300</th> <th>350</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>800 及び 900</td> <td>80 100 120</td> <td>1.00</td> <td colspan="3">1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1,000</td> <td>80</td> <td rowspan="3">1.00</td> <td rowspan="3">1.00</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>100</td> <td colspan="2"></td> <td>0.95</td> </tr> <tr> <td>120</td> <td colspan="2"></td> <td>0.85</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1,100</td> <td>80</td> <td rowspan="3">1.00</td> <td rowspan="3">1.00</td> <td colspan="2"></td> <td>0.95</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>0.95</td> <td>0.80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>120</td> <td>0.80</td> <td>0.70</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1,200</td> <td>80</td> <td rowspan="3">1.00</td> <td>1.00</td> <td>0.95</td> <td>0.80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>0.95</td> <td>0.80</td> <td>0.65</td> <td></td> </tr> <tr> <td>120</td> <td>0.80</td> <td>0.70</td> <td>0.60</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(ポンプ能力400ℓ/min)</p> <p>T_{g3} : 杭1本当り固化体先端部造成時間 (min/本)</p> $T_{g3} = \alpha_2 \times T_a$ <p>α_2 : 地盤係数 (表5. 3)</p> <p>T_a : 固化体先端部造成時間 (min/本) (表5. 4)</p> <p>表5. 3 地盤係数 (α_2)</p> <table border="1" data-bbox="572 1234 1169 1423"> <thead> <tr> <th>荷重平均N値</th> <th>地盤係数 α_2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N < 40</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>40 ≤ N < 50</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>50 ≤ N < 60</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>60 ≤ N < 80</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 対象地盤の最大N値が50を超えるものについては、次式により換算N値を求めた上で適用する。</p> $\text{換算N値} = \frac{1,500}{\text{落下50回当り貫入量 (cm)}}$ <p>表5. 4 固化体先端部造成時間 (T_a) (min/本)</p> <table border="1" data-bbox="572 1612 1169 1854"> <thead> <tr> <th>鋼管径 D_p (mm)</th> <th>T_a (min/本)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>600</td> <td>14.6</td> </tr> <tr> <td>700</td> <td>16.2</td> </tr> <tr> <td>800</td> <td>17.8</td> </tr> <tr> <td>900</td> <td>19.4</td> </tr> <tr> <td>1,000</td> <td>21.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表には、先端部の掘進時間、引上げ時間、鋼管定着時間を含む。</p>	杭径 (mm)	W/C (%)	固化材添加量 (kg/m ³)				摘要	空掘部	固化体一般部			150	250	300	350	800 及び 900	80 100 120	1.00	1.00				1,000	80	1.00	1.00				100			0.95	120			0.85	1,100	80	1.00	1.00			0.95	100	0.95	0.80		120	0.80	0.70		1,200	80	1.00	1.00	0.95	0.80		100	0.95	0.80	0.65		120	0.80	0.70	0.60		荷重平均N値	地盤係数 α_2	N < 40	1.0	40 ≤ N < 50	1.1	50 ≤ N < 60	1.2	60 ≤ N < 80	1.4	鋼管径 D_p (mm)	T_a (min/本)	600	14.6	700	16.2	800	17.8	900	19.4	1,000	21.0	<p>T_{g2} : 杭1本当り一般部造成時間</p> $T_{g2} = L_2 / V_{g2}$ <p>L_2 : 一般部長 (m)</p> <p>V_{g2} : 一般部掘進速度 (m/min) (表5. 2)</p> <p>表5. 2 一般部 (V_{g2})の掘進速度 (m/min)</p> <table border="1" data-bbox="1605 401 2502 835"> <thead> <tr> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th colspan="3">加重平均N値</th> </tr> <tr> <th>N < 10</th> <th>10 ≤ N < 30</th> <th>30 ≤ N < 50</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>900</td> <td>0.50</td> <td>0.45</td> <td>0.41</td> </tr> <tr> <td>1,000</td> <td>0.46</td> <td>0.41</td> <td>0.38</td> </tr> <tr> <td>1,100</td> <td>0.41</td> <td>0.37</td> <td>0.33</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>0.37</td> <td>0.33</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>1,300</td> <td>0.33</td> <td>0.30</td> <td>0.26</td> </tr> <tr> <td>1,400</td> <td>0.29</td> <td>0.25</td> <td>0.22</td> </tr> <tr> <td>1,500</td> <td>0.26</td> <td>0.22</td> <td>0.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、ロッド引抜き時間を含む。 2. 加重平均N値は一般部のN値を加重平均する。</p> <p>T_{g3} : 杭1本当り先端部造成時間 (min/本)</p> $T_{g3} = L_3 / V_{g3}$ <p>L_3 : 先端部長 (m)</p> <p>V_{g3} : 先端部掘進速度 (m/min) (表5. 3)</p> <p>表5. 3 先端部 (V_{g3})の掘進速度 (m/min)</p> <table border="1" data-bbox="1534 1287 2573 1409"> <thead> <tr> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th colspan="4">加重平均N値</th> </tr> <tr> <th>N < 40</th> <th>40 ≤ N < 50</th> <th>50 ≤ N < 60</th> <th>60 ≤ N < 80</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>900 ~ 1,500</td> <td>0.20</td> <td>0.19</td> <td>0.17</td> <td>0.15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表には、ロッド引抜き時間を含む。 2. 対象地盤の最大N値が50を超えるものについては、次式により換算N値を求めた上で適用する。</p> $\text{換算N値} = \frac{1,500}{\text{落下50回当り貫入量 (cm)}}$ <p>3. 加重平均N値は先端部のN値を加重平均する。</p>	杭径 (mm)	加重平均N値			N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50	900	0.50	0.45	0.41	1,000	0.46	0.41	0.38	1,100	0.41	0.37	0.33	1,200	0.37	0.33	0.30	1,300	0.33	0.30	0.26	1,400	0.29	0.25	0.22	1,500	0.26	0.22	0.20	杭径 (mm)	加重平均N値				N < 40	40 ≤ N < 50	50 ≤ N < 60	60 ≤ N < 80	900 ~ 1,500	0.20	0.19	0.17	0.15	
杭径 (mm)	W/C (%)			固化材添加量 (kg/m ³)						摘要																																																																																																																																					
				空掘部	固化体一般部																																																																																																																																										
		150	250		300	350																																																																																																																																									
800 及び 900	80 100 120	1.00	1.00																																																																																																																																												
1,000	80	1.00	1.00																																																																																																																																												
	100					0.95																																																																																																																																									
	120					0.85																																																																																																																																									
1,100	80	1.00	1.00			0.95																																																																																																																																									
	100			0.95	0.80																																																																																																																																										
	120			0.80	0.70																																																																																																																																										
1,200	80	1.00	1.00	0.95	0.80																																																																																																																																										
	100		0.95	0.80	0.65																																																																																																																																										
	120		0.80	0.70	0.60																																																																																																																																										
荷重平均N値	地盤係数 α_2																																																																																																																																														
N < 40	1.0																																																																																																																																														
40 ≤ N < 50	1.1																																																																																																																																														
50 ≤ N < 60	1.2																																																																																																																																														
60 ≤ N < 80	1.4																																																																																																																																														
鋼管径 D_p (mm)	T_a (min/本)																																																																																																																																														
600	14.6																																																																																																																																														
700	16.2																																																																																																																																														
800	17.8																																																																																																																																														
900	19.4																																																																																																																																														
1,000	21.0																																																																																																																																														
杭径 (mm)	加重平均N値																																																																																																																																														
	N < 10	10 ≤ N < 30	30 ≤ N < 50																																																																																																																																												
900	0.50	0.45	0.41																																																																																																																																												
1,000	0.46	0.41	0.38																																																																																																																																												
1,100	0.41	0.37	0.33																																																																																																																																												
1,200	0.37	0.33	0.30																																																																																																																																												
1,300	0.33	0.30	0.26																																																																																																																																												
1,400	0.29	0.25	0.22																																																																																																																																												
1,500	0.26	0.22	0.20																																																																																																																																												
杭径 (mm)	加重平均N値																																																																																																																																														
	N < 40	40 ≤ N < 50	50 ≤ N < 60	60 ≤ N < 80																																																																																																																																											
900 ~ 1,500	0.20	0.19	0.17	0.15																																																																																																																																											

土木工事標準歩掛の改定
鋼管・既製コンクリート杭打工（鋼管ソイルセメント杭工）

工種名	現行	改定	摘要																																																																																											
鋼管ソイルセメント杭工	<p>5-2 杭1本当りのロッド引上げ時間 $T1 = T1_1 + T1_2 + T1_3$ $T1$: 杭1本当りのロッド引上げ時間 (min/本)</p> <p>$T1_1$: 空掘部ロッド引上げ時間 (min/本) $T1_1 = L_1 / V1_1$ L_1 : 空掘長 (m) $V1_1$: 空掘部引上げ速度 (m/min) = 2.0m/min</p> <p>$T1_2$: 固化体一般部ロッド引上げ時間 (min/本) $T1_2 = (L_2 - 3 \times D_p) / V1_2$ L_2 : 固化体一般部長 (m) D_p : 鋼管径 (m) $V1_2$: 固化体一般部引上げ速度 (m/min) = 2.0m/min</p> <p>$T1_3$: 固化体先端部ロッド引上げ時間 (min/本) $T1_3 = 3 \times D_p / V1_3$ D_p : 鋼管径 (m) $V1_3$: 先端部引上げ速度 (m/min) = 0.5m/min</p> <p>5-3 杭1本当りの継手溶接時間 $T_w = \sum twi$ T_w : 杭1本当りの継手溶接時間 (min/本) twi : 継手1箇所当りの溶接時間 (表5.5)</p> <p style="text-align: center;">表5.5 継手1箇所当りの溶接時間 (min/箇所)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">鋼管径 (mm)</th> <th colspan="7">板厚 (mm)</th> </tr> <tr> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>14</th> <th>16</th> <th>19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>600</td> <td>29</td> <td>32</td> <td>37</td> <td>41</td> <td>53</td> <td>68</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>700</td> <td>33</td> <td>38</td> <td>43</td> <td>48</td> <td>62</td> <td>79</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>800</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>46</td> <td>59</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>900</td> <td>29</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>40</td> <td>51</td> <td>66</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>1,000</td> <td>—</td> <td>34</td> <td>39</td> <td>44</td> <td>57</td> <td>73</td> <td>104</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 鋼管径φ800mm以上は、溶接機2台を使用する溶接時間である。</p> <p>5-4 杭1本当りの準備時間 準備時間は、足場作り、機械の移動、杭の吊込み、芯出し、オーガヘッド取付け・取外し、ロッド切離し、杭頭部固化体撤去、ヤットコ回収等を含む時間であり、次による。 $T_s = \beta (49 + 14nw)$ T_s : 杭1本当りの準備時間 (min/本) β : 施工スペース幅係数 (表5.6) nw : 杭の継手数 (箇所/本) (注) ヤットコ杭も継手1箇所とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 施工スペース幅係数(β)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>施工スペース幅</th> <th>施工スペース係数(β)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25m ≤ W</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>25m > W</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 杭頭部固化体撤去にて、撤去された固化体の処理費は、別途計上する。</p>	鋼管径 (mm)	板厚 (mm)							9	10	11	12	14	16	19	600	29	32	37	41	53	68	95	700	33	38	43	48	62	79	111	800	26	28	32	36	46	59	83	900	29	32	36	40	51	66	93	1,000	—	34	39	44	57	73	104	施工スペース幅	施工スペース係数(β)	25m ≤ W	1.0	25m > W	1.1	<p>5-2 杭1本当り準備時間 準備時間は、足場作り、機械の据付及び移動、ロ元管設置・回収、芯出し、鋼管の吊込み、鋼管キャップ取付、鋼管定着、ロッド接続・切離し等の時間であり次による。なお、ロッド接続・切離し時間については、掘進長24m以下は計上しない。 T_s : 杭1本当りの準備時間 (min/本) $T_s = 110 + L_p \times 0.3 + n_s \times 21$ L_p : 鋼管長 (m) n_s : ロッド接続回数 (回) (表5.4)</p> <p style="text-align: center;">表5.4 ロッド接続回数(n_s)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>掘進長</th> <th>24m以下</th> <th>24m超え42m以下</th> <th>42m超え45m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>0回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-3 杭1本当りの継杭溶接時間 継杭溶接時間は、次のとおりとする。なお、継杭溶接1箇所目は、準備及び固化体造成時間内に溶接作業を行うため、2箇所目以降計上する。 $T_w = \sum (twi \times \alpha)$ T_w : 杭1本当りの継杭溶接時間 (min/本) twi : 1箇所目を除き2箇所目以降の継杭1箇所当りの溶接時間 (表5.5) α : 鋼管板厚補正係数 (表5.6)</p> <p style="text-align: center;">表5.5 継杭1箇所当りの溶接時間 (min/箇所)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>鋼管径 (mm)</th> <th>1箇所当りの溶接時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>700</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>800~900</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>1,000~1,100</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 鋼管径φ800mm以上は、溶接機2台を使用する溶接時間である。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 鋼管板厚補正係数(α)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>鋼管板厚 (mm)</th> <th>9~10</th> <th>11~12</th> <th>13~14</th> <th>15~17</th> <th>18~19</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>係数</td> <td>0.61</td> <td>0.79</td> <td>1.00</td> <td>1.37</td> <td>1.82</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>異なる板厚を溶接する工場溶接は含まない 上杭①-2 (t=12) 上杭①-1 (t=10) 継杭溶接3箇所目 (tw2) 中杭② (t=10) 継杭溶接2箇所目 (tw1) 中杭① (t=10) 継杭溶接1箇所目 (計上しない) 下杭 (t=10)</p> </div> <p>(例) 鋼管径1,000mm、3箇所目の継杭溶接の場合（「下杭」「中杭①」「中杭②」「上杭」） 1箇所目（「下杭」「中杭①」）板厚10mm・・・準備・固化体造成時間内に溶接作業を行うため計上しない。 2箇所目（「中杭①」「中杭②」）板厚10mm・・・$tw1$ 3箇所目（「中杭②」「上杭」）板厚10mm・・・$tw2$</p> <p>$tw1 \times \alpha = 57 \times 0.61 = 34.77 \approx 35\text{min}$ (小数点第1位を四捨五入する) $tw2 \times \alpha = 57 \times 0.61 = 34.77 \approx 35\text{min}$ (小数点第1位を四捨五入する) $T_w = tw1 + tw2 = 35\text{min} + 35\text{min} = 70\text{min}$</p> <p style="text-align: center;">図5-1 継杭溶接箇所 (参考図)</p>	掘進長	24m以下	24m超え42m以下	42m超え45m以下	回数	0回	1回	2回	鋼管径 (mm)	1箇所当りの溶接時間	700	59	800~900	46	1,000~1,100	57	1,200	65	鋼管板厚 (mm)	9~10	11~12	13~14	15~17	18~19	係数	0.61	0.79	1.00	1.37	1.82	
鋼管径 (mm)	板厚 (mm)																																																																																													
	9	10	11	12	14	16	19																																																																																							
600	29	32	37	41	53	68	95																																																																																							
700	33	38	43	48	62	79	111																																																																																							
800	26	28	32	36	46	59	83																																																																																							
900	29	32	36	40	51	66	93																																																																																							
1,000	—	34	39	44	57	73	104																																																																																							
施工スペース幅	施工スペース係数(β)																																																																																													
25m ≤ W	1.0																																																																																													
25m > W	1.1																																																																																													
掘進長	24m以下	24m超え42m以下	42m超え45m以下																																																																																											
回数	0回	1回	2回																																																																																											
鋼管径 (mm)	1箇所当りの溶接時間																																																																																													
700	59																																																																																													
800~900	46																																																																																													
1,000~1,100	57																																																																																													
1,200	65																																																																																													
鋼管板厚 (mm)	9~10	11~12	13~14	15~17	18~19																																																																																									
係数	0.61	0.79	1.00	1.37	1.82																																																																																									

土木工事標準歩掛の改定
鋼管・既製コンクリート杭打工（鋼管ソイルセメント杭工）

工種名	現行	改定	摘要								
鋼管ソイルセメント杭工	<p>6. 材料使用量 使用するセメント使用量，添加材使用量は，次式を標準とする。</p> <p>6-1 セメント使用量 図6-1に表わす部位毎に，セメント量を計上し，各部位の使用量合計が杭1本当りのセメント使用量となる。 なお，高炉セメントB種を標準とする。</p>  <p style="text-align: center;">図6-1 施工した杭の部位名</p>	<p>6. 材料使用量 使用するセメント使用量，添加材使用量は，次式を標準とする。</p> <p>6-1 セメント使用量 図6-1に表わす部位毎に，セメント量を計上し，各部位の使用量合計が杭1本当りのセメント使用量となる。 なお，高炉セメントB種を標準とする。</p>  <p style="text-align: center;">図6-1 施工した杭の部位名</p>									
	<p>$Q = C_1 + C_2 + C_3 \dots$式6. 1 Q : セメント使用量 (t/本) C₁ : 空掘部セメント使用量 (t/本) C₂ : 固化体一般部セメント使用量 (t/本) C₃ : 固化体先端部セメント使用量 (t/本) (注) C₃のセメント使用量には，引上げ注入時のセメントも含まれる。</p> <p>C₁ : 空掘部セメント使用量 $C_1 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_1 \times 0.15 \times (1 + K)$ D_s : 杭径 L₁ : 空掘部長 K : ロス率 (表6. 2)</p> <p>C₂ : 固化体一般部セメント使用量 $C_2 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_2 \times (q / 1,000) \times (1 + K)$ D_s : 杭径 L₂ : 固化体一般部長 q : 土1m³当り固化材添加量 (kg/m³) (表6. 1) K : ロス率 (表6. 2)</p> <p>C₃ : 固化体先端部セメント使用量 $C_3 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_3 \times 1.5 \times (1 + K)$ D_s : 杭径 L₃ : 固化体先端部長 K : ロス率 (表6. 2)</p>	<p>$Q_1 = C_1 + C_2 + C_3 \dots$式6. 1 Q₁ : 杭1本当りセメント使用量 (t/本) C₁ : 空掘部セメント使用量 (t/本) C₂ : 固化体一般部セメント使用量 (t/本) C₃ : 固化体先端部セメント使用量 (t/本) (注) C₃のセメント使用量には，引上げ注入時のセメントも含まれる。</p> <p>C₁ : 空掘部セメント使用量 $C_1 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_1 \times 0.15 \times (1 + K_1)$ D_s : 杭径 L₁ : 空掘部長 K₁ : ロス率 (表6. 2)</p> <p>C₂ : 固化体一般部セメント使用量 $C_2 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_2 \times (q / 1,000) \times (1 + K_1)$ D_s : 杭径 L₂ : 固化体一般部長 q : 土1m³当り固化材添加量 (kg/m³) (表6. 1) K₁ : ロス率 (表6. 2)</p> <p>C₃ : 固化体先端部セメント使用量 $C_3 = D_s^2 \times \pi / 4 \times L_3 \times 1.5 \times (1 + K_1)$ D_s : 杭径 L₃ : 固化体先端部長 K₁ : ロス率 (表6. 2)</p>									
	<p style="text-align: center;">表6. 1 土1m³当り固化材添加量 (q) (kg/m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>固化材添加量 (kg/m³)</td> <td>250</td> <td>300</td> <td>350</td> </tr> </table>	固化材添加量 (kg/m ³)	250	300	350	<p style="text-align: center;">表6. 1 固化体一般部の土1m³当り固化材添加量 (q) (kg/m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>固化材添加量</td> <td>300</td> <td>350</td> <td>400</td> </tr> </table>	固化材添加量	300	350	400	
固化材添加量 (kg/m ³)	250	300	350								
固化材添加量	300	350	400								
	<p style="text-align: center;">表6. 2 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.15</td> </tr> </table>	ロス率	+0.15	<p style="text-align: center;">表6. 2 ロス率 (K₁)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.15</td> </tr> </table>	ロス率	+0.15					
ロス率	+0.15										
ロス率	+0.15										

土木工事標準歩掛の改定
鋼管・既製コンクリート杭打工（鋼管ソイルセメント杭工）

工種名	現行	改定	摘要																																
鋼管ソイルセメント杭工	<p>6-2 添加材使用量</p> <p>図6-1に表わす部位毎に、添加材使用係数をセメント量に乗じて部位毎使用量を計上し、その使用量の合計が、杭1本当りの添加材使用量となる。なお、硬化遅延剤を標準とする。</p> <p>$Q_2 = P_1 + P_2$……式6.2</p> <p>Q_2：添加材使用量 (kg/本)</p> <p>P_1：空掘部添加材使用量 (kg/本)</p> <p>$P_1 = C_1 \times K_2 \times 1,000$</p> <p>$C_1$：空掘部セメント使用量</p> <p>$K_2$：添加材使用係数 (表6.3)</p> <p>$P_2$：固化体一般部添加材使用量 (kg/本)</p> <p>$P_2 = C_2 \times K_2 \times 1,000$</p> <p>$C_2$：固化体一般部セメント使用量</p> <p>$K_2$：添加材使用係数 (表6.3)</p> <p>(注) 固化体先端部に添加材は使用しない。</p> <p style="text-align: center;">表6.3 添加材使用係数 (K_2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 25%;">掘進長 (Le)</td> <td style="width: 25%;">0~15m未満</td> <td style="width: 25%;">15~30m未満</td> <td style="width: 25%;">30~45m未満</td> <td style="width: 25%;">45~50m以下</td> </tr> <tr> <td>添加材使用係数</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0.015</td> <td style="text-align: center;">0.03</td> <td style="text-align: center;">0.04</td> </tr> </table> <p>(注) 掘進長 (Le) とは、図6-1の$L_1 + L_2 + L_3$とする。</p> <p>7. 諸 雑 費</p> <p>諸雑費は、電力に関する経費、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、溶接機と溶接材料の費用、掘削攪拌ヘッド及びロッド、鋼管キャップ・カラー、ロッドスタビライザ、スタビライザブラケット、ロッド吊金具等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">継杭の有無</td> <td style="width: 50%;">諸雑費率</td> </tr> <tr> <td>継杭無し</td> <td style="text-align: center;">23</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td style="text-align: center;">29</td> </tr> </table>	掘進長 (Le)	0~15m未満	15~30m未満	30~45m未満	45~50m以下	添加材使用係数	0	0.015	0.03	0.04	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	23	継杭有り	29	<p>6-2 添加材使用量</p> <p>図6-1に表わす部位毎に、添加材使用係数をセメント量に乗じて部位毎使用量を計上し、その使用量の合計が、杭1本当りの添加材使用量となる。なお、硬化遅延剤を標準とする。</p> <p>$Q_2 = Q_1 \times 1,000 \times K_2$……式6.2</p> <p>$Q_2$：添加材使用量 (kg/本)</p> <p>$Q_1$：杭1本当りセメント使用量 (t/本)</p> <p>K_2：添加材使用係数 (表6.3)</p> <p style="text-align: center;">表6.3 添加材使用係数 (K_2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 25%;">掘進長 (Le)</td> <td style="width: 25%;">0~10m未満</td> <td style="width: 25%;">10~20m未満</td> <td style="width: 25%;">20~30m未満</td> <td style="width: 25%;">30~45m以下</td> </tr> <tr> <td>添加材使用係数</td> <td style="text-align: center;">0.005</td> <td style="text-align: center;">0.01</td> <td style="text-align: center;">0.02</td> <td style="text-align: center;">0.03</td> </tr> </table> <p>(注) 掘進長 (Le) とは、図6-1の$L_1 + L_2 + L_3$とする。</p> <p>7. 諸 雑 費</p> <p>諸雑費は、電力に関する経費、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、溶接機と付属機材及び溶接材料の費用、口元管、ヤットコ、掘削攪拌ヘッド及びロッド、鋼管キャップ・カラー、ロッドスタビライザ、スタビライザブラケット、下部振れ止め、ロッド吊金具、高圧洗浄機等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">継杭の有無</td> <td style="width: 50%;">諸雑費率</td> </tr> <tr> <td>継杭無し</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td>継杭有り</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> </table>	掘進長 (Le)	0~10m未満	10~20m未満	20~30m未満	30~45m以下	添加材使用係数	0.005	0.01	0.02	0.03	継杭の有無	諸雑費率	継杭無し	27	継杭有り	28	
掘進長 (Le)	0~15m未満	15~30m未満	30~45m未満	45~50m以下																															
添加材使用係数	0	0.015	0.03	0.04																															
継杭の有無	諸雑費率																																		
継杭無し	23																																		
継杭有り	29																																		
掘進長 (Le)	0~10m未満	10~20m未満	20~30m未満	30~45m以下																															
添加材使用係数	0.005	0.01	0.02	0.03																															
継杭の有無	諸雑費率																																		
継杭無し	27																																		
継杭有り	28																																		

土木工事標準歩掛の改定
鋼管・既製コンクリート杭打工（鋼管ソイルセメント杭工）

工種名	現行	改定	摘要																																																																																																																																																	
鋼管ソイルセメント杭工	8. 単価表 (1) 鋼管ソイルセメント杭1本当り単価表	8. 単価表 (1) 鋼管ソイルセメント杭1本当り単価表																																																																																																																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$</td> <td>継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラ式杭打機運転</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 800～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110kW</td> <td>h</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>ベースマシン、オーガ モータ、鋼管回転装 置、施工管理システム を含む 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 60～65t吊</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.5m³(平積0.45m³)</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>スラリプラント (全自動)</td> <td>能力40m³/h</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>セメント材料費</td> <td>高炉セメントB種</td> <td>t</td> <td>Q</td> <td>式6.1, 表6.1, 表6.2</td> </tr> <tr> <td>添加材材料費</td> <td></td> <td>kg</td> <td>Q₂</td> <td>式6.2, 表6.3</td> </tr> <tr> <td>鋼管杭</td> <td>突起(リブ)付</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1	溶接工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による	とび工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1	特殊作業員		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	〃	普通作業員		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	〃	クローラ式杭打機運転	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 800～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110kW	h	$\frac{T_c}{60}$	ベースマシン、オーガ モータ、鋼管回転装 置、施工管理システム を含む 機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 60～65t吊	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	機械損料	バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.45m ³)	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	機械損料	スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	機械損料	諸雑費		式	1	表7.1	セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q	式6.1, 表6.1, 表6.2	添加材材料費		kg	Q ₂	式6.2, 表6.3	鋼管杭	突起(リブ)付	本	1		計					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>溶接工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$</td> <td>継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による</td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr style="border: 2px solid red;"> <td>クローラ式杭打機運転</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW</td> <td>h</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運転</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 ○○t吊 排出ガス対策型(第○次基準値)</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>スラリプラント (全自動)</td> <td>能力40m³/h</td> <td>〃</td> <td>$\frac{T_c - T_w}{60}$</td> <td>表3.1 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.1</td> </tr> <tr> <td>セメント材料費</td> <td>高炉セメントB種</td> <td>t</td> <td>Q₁</td> <td>式6.1, 表6.1, 表6.2</td> </tr> <tr> <td>添加材材料費</td> <td></td> <td>kg</td> <td>Q₂</td> <td>式6.2, 表6.3</td> </tr> <tr> <td>鋼管杭</td> <td>突起(リブ)付</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. T=鋼管ソイルセメント杭打機運転日当り運転時間は、5.8h/日とする。 2. 鋼管径が800mm未満については、()の人工を計上する。</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1	溶接工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による	とび工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1	特殊作業員		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	〃	クローラ式杭打機運転	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 ○○t吊 排出ガス対策型(第○次基準値)	〃	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料	バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料	スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料	諸雑費		式	1	表7.1	セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q ₁	式6.1, 表6.1, 表6.2	添加材材料費		kg	Q ₂	式6.2, 表6.3	鋼管杭	突起(リブ)付	本	1		計					
	名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																															
	土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1																																																																																																																																															
	溶接工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による																																																																																																																																															
	とび工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1																																																																																																																																															
	特殊作業員		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	〃																																																																																																																																															
	普通作業員		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	〃																																																																																																																																															
	クローラ式杭打機運転	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 800～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110kW	h	$\frac{T_c}{60}$	ベースマシン、オーガ モータ、鋼管回転装 置、施工管理システム を含む 機械損料																																																																																																																																															
	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 60～65t吊	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	機械損料																																																																																																																																															
	バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.45m ³)	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	機械損料																																																																																																																																															
	スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	機械損料																																																																																																																																															
	諸雑費		式	1	表7.1																																																																																																																																															
	セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q	式6.1, 表6.1, 表6.2																																																																																																																																															
	添加材材料費		kg	Q ₂	式6.2, 表6.3																																																																																																																																															
	鋼管杭	突起(リブ)付	本	1																																																																																																																																																
	計																																																																																																																																																			
	名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																																																																															
	土木一般世話役		人	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	表4.1																																																																																																																																															
	溶接工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2(1)$	継杭の場合に計上 鋼管径800mm未満は (注)による																																																																																																																																															
	とび工		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 2$	表4.1																																																																																																																																															
	特殊作業員		〃	$\frac{T_c}{(60 \times T)} \times 1$	〃																																																																																																																																															
	クローラ式杭打機運転	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW	h	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																															
	クローラクレーン運転	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 ○○t吊 排出ガス対策型(第○次基準値)	〃	$\frac{T_c}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																															
	バックホウ (クローラ型)運転	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																															
スラリプラント (全自動)	能力40m ³ /h	〃	$\frac{T_c - T_w}{60}$	表3.1 機械損料																																																																																																																																																
諸雑費		式	1	表7.1																																																																																																																																																
セメント材料費	高炉セメントB種	t	Q ₁	式6.1, 表6.1, 表6.2																																																																																																																																																
添加材材料費		kg	Q ₂	式6.2, 表6.3																																																																																																																																																
鋼管杭	突起(リブ)付	本	1																																																																																																																																																	
計																																																																																																																																																				
	(2) 機械運転単価表	(2) 機械運転単価表																																																																																																																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラ式杭打機</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW</td> <td>機-1</td> <td>運転労務費→0.16 燃料消費量→12</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65t吊 排出ガス対策型(第1次基準値)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務費→0.17 燃料消費量→12</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務費→0.17 燃料消費量→18</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務費→0.18 燃料消費量→9.8</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	適用単価表	指定事項	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW	機-1	運転労務費→0.16 燃料消費量→12	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65t吊 排出ガス対策型(第1次基準値)	機-1	運転労務費→0.17 燃料消費量→12	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-1	運転労務費→0.17 燃料消費量→18	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1	運転労務費→0.18 燃料消費量→9.8	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="border: 2px solid red;"> <td>クローラ式杭打機</td> <td>鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW</td> <td>機-1</td> <td>運転労務費→0.19 燃料消費量→13</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65t吊 排出ガス対策型(第1次基準値)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務費→0.17 燃料消費量→12</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務費→0.17 燃料消費量→18</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m³(平積0.4m³)</td> <td>機-1</td> <td>運転労務費→0.16 燃料消費量→9.8</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	適用単価表	指定事項	クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW	機-1	運転労務費→0.19 燃料消費量→13	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65t吊 排出ガス対策型(第1次基準値)	機-1	運転労務費→0.17 燃料消費量→12	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-1	運転労務費→0.17 燃料消費量→18	バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1	運転労務費→0.16 燃料消費量→9.8																																																																																																										
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																	
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW	機-1	運転労務費→0.16 燃料消費量→12																																																																																																																																																	
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65t吊 排出ガス対策型(第1次基準値)	機-1	運転労務費→0.17 燃料消費量→12																																																																																																																																																	
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-1	運転労務費→0.17 燃料消費量→18																																																																																																																																																	
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1	運転労務費→0.18 燃料消費量→9.8																																																																																																																																																	
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																																																																																																																	
クローラ式杭打機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900～1,500mm 最大施工深度 70m オーガ出力 110～150kW	機-1	運転労務費→0.19 燃料消費量→13																																																																																																																																																	
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60～65t吊 排出ガス対策型(第1次基準値)	機-1	運転労務費→0.17 燃料消費量→12																																																																																																																																																	
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90t吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-1	運転労務費→0.17 燃料消費量→18																																																																																																																																																	
バックホウ (クローラ型)	標準型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.5m ³ (平積0.4m ³)	機-1	運転労務費→0.16 燃料消費量→9.8																																																																																																																																																	